

全国公立中高一貫校 適性検査

先生・塾いらず 1人で学習できる!

論理的思考力・
地頭力を要する

過去問題解説集

第8弾

算数問題

2021年版
佐藤 学 著



「恋する適性検査」 <http://ameblo.jp/tekisei-kensa/>

☆目次 問題編

■ 2021年 愛媛県立中学校	1
■ 2021年 宮城県仙台二華中学校	3
■ 2021年 岡山県立倉敷天城中学校	4
■ 2021年 宮崎県立中学校	5
■ 2021年 さいたま市立大宮国際中等教育学校(ロボット)	6
■ 2021年 さいたま市立大宮国際中等教育学校(基石)	8
■ 2021年 和歌山県立中学校	11
■ 2021年 奈良県立青翔中学校	12
■ 2021年 埼玉県立伊奈学園中学校	14
■ 2021年 神奈川県立中等教育学校	15
■ 2021年 都立共同作成問題	17
■ 2021年 都立三鷹中等教育学校	19
■ 2021年 都立両国高等学校附属中学校	20
■ 2021年 都立大泉高等学校附属中学校	23
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(富士サイファー)	24
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(暗号)	26
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(玉入れ)	28
■ 2021年 都立桜修館中等教育学校	29
■ 2021年 都立白おう高等学校附属中学校	30
■ 2021年 山口県立中等教育学校	32
■ 2021年 横浜市立南高等学校附属中学校	33
■ 2021年 福井県立高志中学校(数字ならべ)	35
■ 2021年 福井県立高志中学校(ブロック)	36
■ 2021年 茨城県共通問題	37
■ 2021年 岡山県立岡山操山中学校	39
■ 2021年 青森県立三本木高等学校附属中学校	41
■ 2021年 栃木県立中学校(チーム分け)	42
■ 2021年 栃木県立中学校(リレー)	44
■ 2021年 熊本県立中学校	45
■ 2021年 京都府立中学校	46

次の文章は、先生が、^{さいし}碁石を使った問題について、ひろとさんたちに説明している場面の会話文です。
この文章を読んで、次の問題に答えてください。

先生：これから、いくつかの黒色の碁石を、三角形(図1)の①～⑥の場所に置きます。まず、3個の碁石を置く場合を考えます。

3個の碁石を図1の①と②と③の場所に置くと、1つの辺に3個ならびます(図2)。このように、1つの辺に3個ならぶような置き方が、ほかに2とおあります。3個の碁石をどこに置けばよいですか。

ひろと：「ア」です。

先生：よくできました。次に、ちがう置き方も考えてみましょう。

3個の碁石を図1の②と④と⑥の場所に置くと、どの辺にも1個の碁石があります(図3)。それでは、どの辺にも2個の碁石があるように置くと、3個の碁石をどこに置けばよいですか。

みゆき：「イ」です。

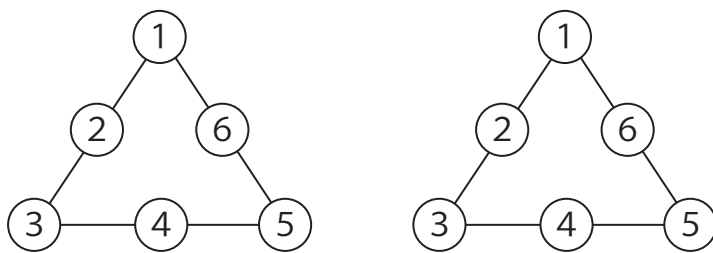
先生：よくできました。

先生：よくできました。

先生：よくできました。

■問題1

「ア」に当てはまる、ひろとさんが答えた2とおりの碁石の置き方が分かるように、下図の番号をぬりつぶしてください。



■問題2

「イ」に当てはまる、みゆきさんが答えた碁石の置き方が分かるように、下図の番号をぬりつぶしてください。

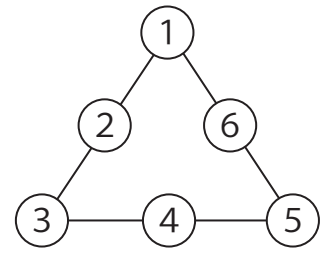
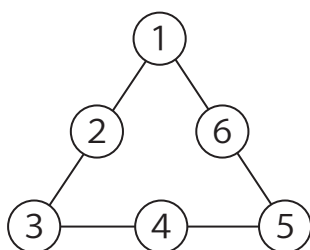


図1

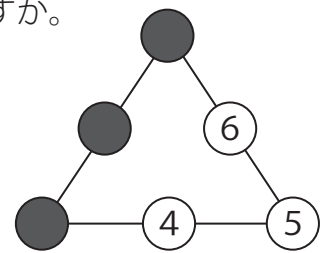


図2

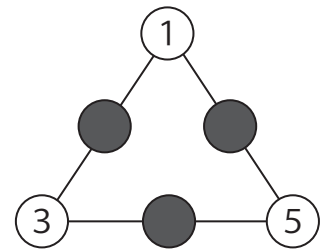
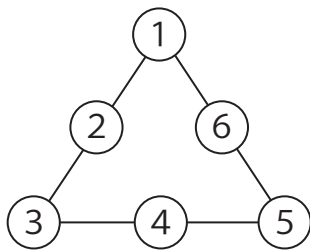
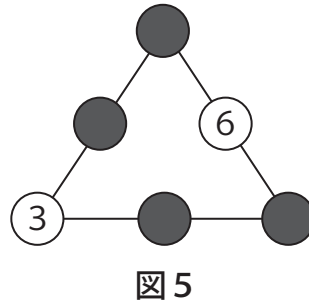
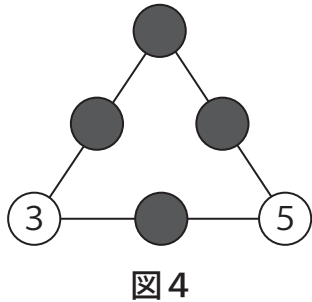


図3

■問題3

4個の基石を置く場合を考えます。図4, 図5のように基石を4個置くと, 3個ならぶ辺はありません。3個ならぶ辺がないような置き方は, ほかに4とおりあります。その4とおりのうち, いずれか1とおりの基石の置き方を選び, 下図の番号をぬりつぶしてください。

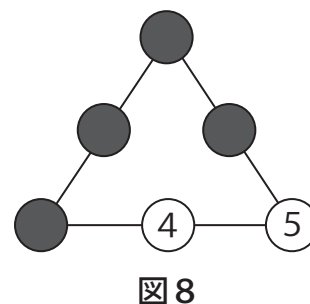
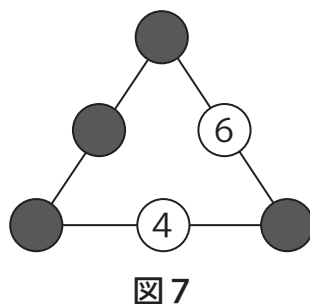
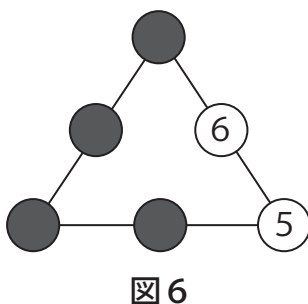


■問題4

4個の基石を置く場合を考えます。図6~図8のように基石を4個置くと, 1つの辺に3個ならびます。このとき, 図6~図8の基石を置いている場所にかかれている数の和は, それぞれ10, 11, 12となります。

4個の基石を使い, 1つの辺に3個ならぶような置き方は, ほかに何とおりかあります。

4個の基石を使い, 1つの辺に3個ならぶように置いたとき, 基石を置いている場所にかかれている数の和は, 最大でいくらになるか書いてください。



はなこ
華子さん：きれいなメダルがたくさんあるね。

部員：全部同じメダルに見えますが、^{もけい}模型のメダルも入っています。模型は形や大きさは本物と全く同じですが、重さが本物より少しだけ重いものや軽いものもあります。

華子さん：手で持っただけでは、どれが模型なのか分かりませんね。

部員：そうですね。この4枚^{まい}の中には模型のメダルが1枚入っていますが、どうすれば模型のメダルを見分けることができると思いますか。

太郎さん：見当もつきません。どのように見分けるのですか。

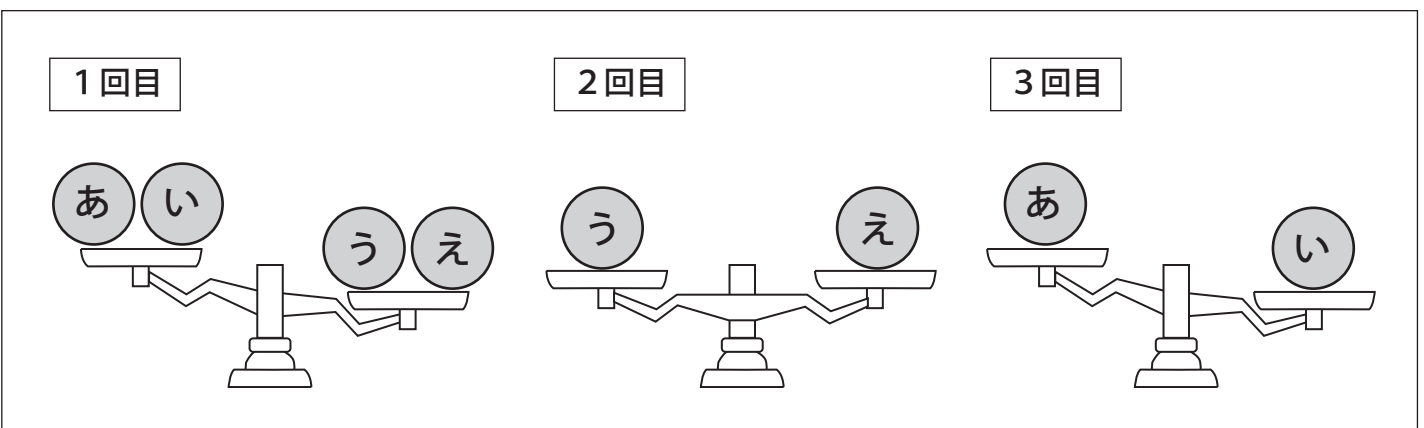
部員：ここにあるてんびんを使います。こうすれば、ア てんびんを3回使って見分けることができますよ。見ていてくださいね。

華子さん：なるほど。工夫すれば、イ てんびんを使う回数をもっと減らせるかな。

■問題1

「ア てんびんを3回使って見分けることができます」とありますが、部員は下の手順でてんびんを3回使って、4枚のメダルの中から1枚の模型を見分ける方法を説明しました。4枚のメダルあ～えの中から、模型のメダルを1つ選び、記号で答えなさい。

部員が説明した手順



■問題2

「イ てんびんを使う回数をもっと減らせる」とありますが、華子さんは、てんびんを2回使って、4枚のメダルA～Dの中に1枚だけ入っている模型を見分ける方法を思いつきました。華子さんが思いついた方法を説明しなさい。

図1のような底面の円の直径が18cm, 高さが9cmの円柱の形をしたスポンジケーキに生クリームをぬってケーキを作ります。

このスポンジケーキを底面と平行に3等分に切り分け, スポンジケーキの周りやスポンジケーキとスポンジケーキとの間の厚みが1cmになるように生クリームをぬって完成させます。

この完成したケーキを円の中心を通り底面と垂直に切ると, 切ったときにできる面の形が図2のような長方形になります。

ケーキを完成させるのに必要な生クリームの量を求め, どのようにして求めたのかも説明しましょう。

ただし, 答えの単位は cm^3 とし, 四捨五入して十の位までのがい数にしましょう。

また, 円周率は3.14とします。

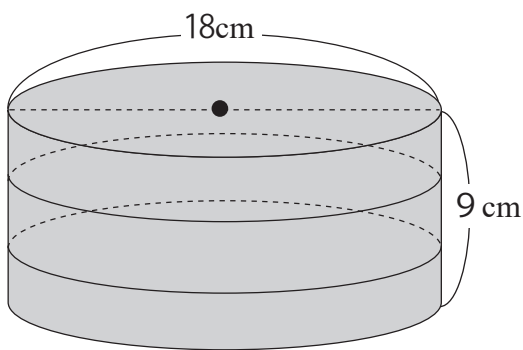


図1

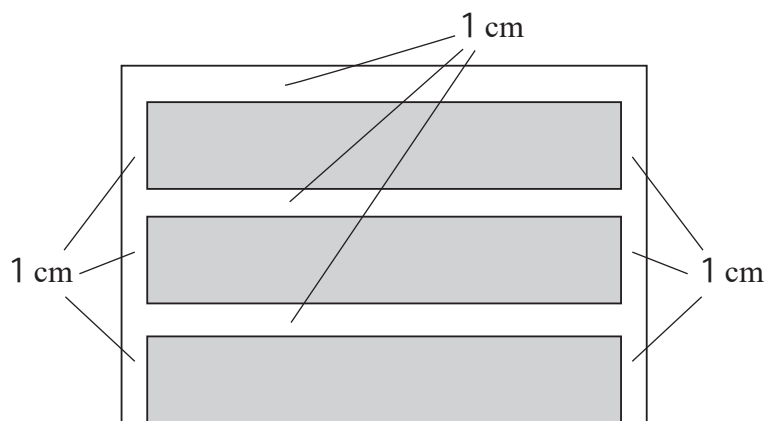


図2

さくらさんと先生は、スマートフォンの電話番号について話をしています。

先生：私のスマートフォンの電話番号は、最後の4けたが偶然にも自分の誕生日の月日を並べた4けたと同じ番号なんです。

さくら：そうなんです。私の誕生日は3月13日だから、私の場合だとその番号は、0313になります。

先生：そうですか。それでは、さくらさんの番号の数を使って

問題を出すね。3を2個以上ふくむ4けたの番号は何通りあるでしょうか。

4けたの番号			
0	3	1	3

さくら：数えるのが大変そうですね。

先生：1つずつ調べていくと時間がかかります。どうすればいいと思いますか。

さくら：はい、3の数に注目して考えればいいと思います。

先生：そのとおりです。4けたの番号に、3を2個以上ふくむのは、「3が2個のとき」、

「3が3個のとき」、「3が4個のとき」の3つの場合に分けられます。まず、「3が4個のとき」は何通りありますか。

さくら：(ア)通りです。

先生：正解です。次に、「3が3個のとき」、3以外の残り1個の数が、4けたの番号のどこに入るのかを考えると、何通りありますか。

さくら：(イ)通りです。分かりました。このとき、3以外の数は全部で(ウ)通りあるから、「3が3個のとき」は36通りになると思います。

先生：最後は、「3が2個のとき」です。

さくら：同じように考えればいいので、(エ)通りです。

先生：正解です。ということは、3を2個以上ふくむ4けたの番号が全部で何通りあるかは、(ア)+36+(エ)を計算すれば分かりますね。

■問題1

会話の(ア)、(イ)、(ウ)にあてはまる数を答えてください。

■問題2

会話の(エ)にあてはまる数を答えてください。また、その理由も書いてください。

【太郎さんとお父さんの会話①】

太郎さん：ダンゴムシの動き方にはきまりがあるようです。

お父さん：どのような動き方をするのか。

太郎さん：歩き回るときに、右に曲がると次は左に曲がり、左に曲がると次は右に曲がると、あるウェブサイトに書いてありました。

お父さん：それは面白いね。ここに迷路とプログラミングすることによって動くことができるロボットがあるよ。ロボットが迷路のスタートの位置から動き出し、ゴールまでたどりつくことができるように動き方のプログラムを組んでみてはどうか。

太郎さん：とてもおもしろそうですね。

お父さん：ただ、このロボットは動き方を4つまでしかプログラムできないよ。1つ目、2つ目、3つ目、4つ目のプログラムを順に実行した後は、1つ目のプログラムに^{もど}戻り、2つ目、3つ目、4つ目と^く繰り返し、実行していくロボットだよ。

太郎さん：このロボットは、^{でんげん}電源を入れている間は直進するのですね。

お父さん：そうだね。プログラムは、「壁に^{かべ}ぶつかると90度右へ進む方向を変える」と「壁にぶつかると90度左へ進む方向を変える」の2つのパターンしかないのだから、気をつけてね。

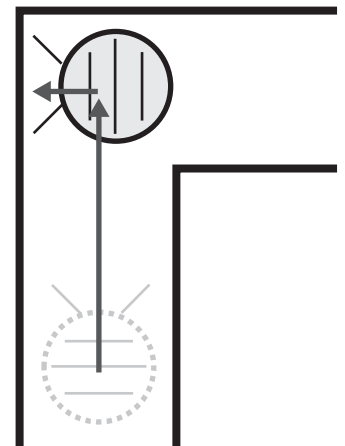
また、プログラムを実行した後、**図1**のようにすぐに壁にぶつかってしまったらロボットはその場で停止してしまうので、注意して、**図2**の迷路をスタートからゴールまでたどりつけるように考えてみてね。

太郎さん：とても^{むずか}難しいですね。4つのプログラムの実行を1セットとしたとき、何セットでゴールまでたどりつくことができるのか教えてくださいませんか。

お父さん：ちょうど4セットでゴールまでたどりつくことができるよ。

太郎さん：ありがとうございます。ゴールまでたどりつくことができるよう考えてみます。

図1



太郎さんは、ロボットを**図2**の迷路のスタートの位置に矢印方向へ向けて置き、電源を入れ動き出した後、ゴールまでたどりつくことができるプログラムを考えました。

【太郎さんとお父さんの会話②】

太郎さん：ちょうど4セットでゴールすることができました。

お父さん：すごいじゃないか。どのようなプログラムを組んだのかな。

太郎さん：プログラムの1つ目は「 A 」, 2つ目は「 B 」, 3つ目は「 C 」, 4つ目は「 D 」, でゴールすることができました。

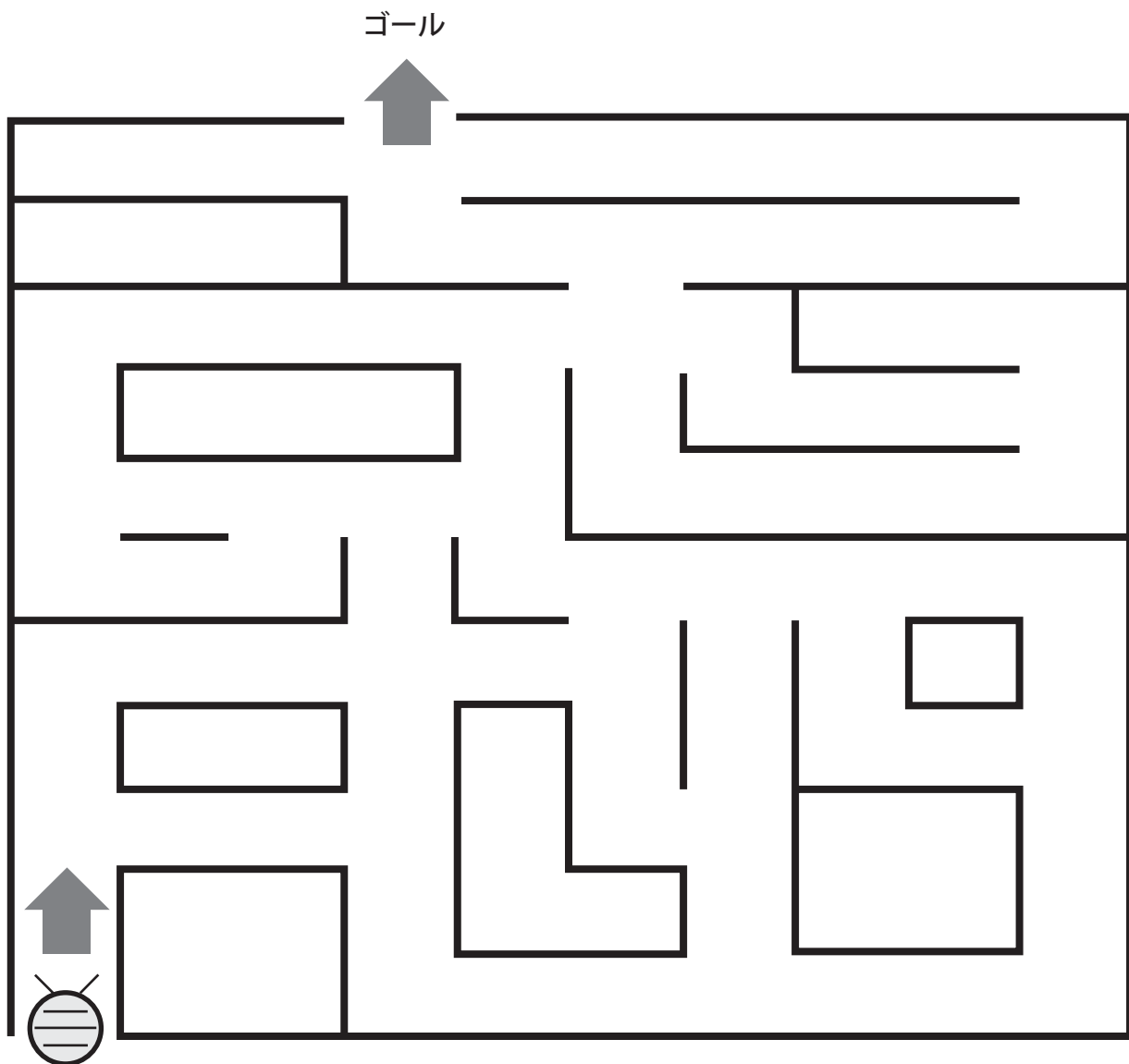
お父さん：正解, よくわかったね。

【太郎さんとお父さんの会話②】にある空らん「 A 」, 「 B 」, 「 C 」, 「 D 」にあてはまる内容を次のア, イから選び, それぞれ記号で答えなさい。

ア 壁にぶつかると, 90度右へ進む方向を変える

イ 壁にぶつかると, 90度左へ進む方向を変える

図2 お父さんが用意した迷路



太郎さんは、本で見かけた白と黒の碁石こいしの問題に取り組んでいますが、難むずかしくて困こまっていました。それを見たお父さんが声をかけてきました。

【本で見かけた白と黒の碁石の問題】

9つのマスが一行に並ならんでいます。そのマスの中には、図1のように白と黒の碁石が4個ずつ、左側に白の碁石、右側に黒の碁石、真ん中のマスを1マス空けて置かれています。〈ルール〉に従したがって碁石を動かし、図2のように白と黒の碁石をすべて入れかえます。最も少ない回数ですべての碁石を入れかえるには何回動かせばよいでしょうか。

〈ルール〉

- ・碁石はマスの中でしか動かすことができない
- ・白い碁石は右に、黒い碁石は左にしか動かすことができない(逆には動かすことができない)
- ・碁石を動かしたい場合、となりのマスが空いていれば、そのマスに動かすことができる
- ・動かしたい碁石のとなりのマスに異なる色の碁石がある場合、その碁石を飛びこえて、となりの空いたマスに動かすことができる(同じ色の碁石や2個以上連続した碁石を飛びこえることはできない)
- ・同じ色の碁石を続けて動かしてもよい

図1



図2



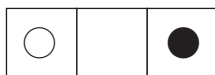
【太郎さんとお父さんの会話①】

お父さん：何か困っているみたいだね。

太郎さん：本で見かけた問題が、難しくて解けません。よい方法があれば教えてください。

お父さん：面白そうな問題だね。碁石を持っておいで。それで実際に動かして考えてみよう。

こういうときはまず、数が少ない場合から考えることが重要だよ。マスを3マスにして白と黒の碁石を1個ずつ置くよ。これで入れかえてごらん。



太郎さん：これは簡単にできました。

お父さん：大事なものは、どう動かしたかを記録しておくことだよ。

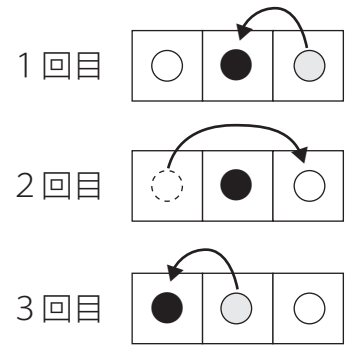
太郎さん：「黒白黒」の順に動かすと、3回で入れかえることができたから、「黒白黒」と記録しました。

お父さん：その調子。白から動かしても「白黒白」で3回だね。

つまり、動かし始める色と回数は関係ないということだね。

では、黒から動かす動かし方でやることとしよう。

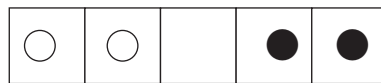
マスを増やして、白と黒の碁石を2個ずつ置いて入れかえてごらん。



■問題 1

太郎さんは図3のようにマスを5マスに増やして、白と黒の碁石を2個ずつ置いて碁石を動かしました。このとき、何回で入れかえることができたか、回数を答えなさい。

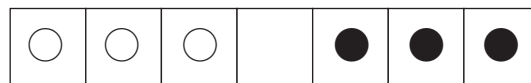
図3



【太郎さんとお父さんの会話②】

お父さん：では、今度は図4のようにマスを7マスに増やして白と黒の碁石を3個ずつ置いて考えてみよう。

図4



太郎さん：さっきみたいに、黒の碁石から順に動かしていくと……。

「黒白白黒黒黒白白白白黒黒黒白白黒」の順に動かせば入れかわりました。

お父さん：今までの記録を見て何か気付いたことはないかな。

太郎さん：記録を見て考えてみます。同じ色の碁石を続けて動かした回数を数字で表して説明します。最初の3マスときは黒1回、白1回、黒1回で入れかえることができたので、「1 1 1」。

同じように考えると5マスときは「 A 」, 7マスときは,

「1 2 3 3 3 2 1」。だから……, 動かす順番には、きまりがありますね。

お父さん：よく気がついたね。ではもう自分で解けるかな。

太郎さん：はい。きまりを使って予想してから、実際に動かして確かめてみます。

■問題2

【太郎さんとお父さんの会話②】にある「 A 」にあてはまる5つの数字を答えなさい。

■問題3

図5のようにマスを増やして、白と黒の碁石を4個ずつ置いて碁石を動かしました。
次の問いに答えなさい。

- (1) 何回で入れかえることができたか、回数を答えなさい。
- (2) 【太郎さんとお父さんの会話②】にある「1 1 1」や「1 2 3 3 3 2 1」のように、同じ色の碁石を続けて動かした回数を、数字で表しなさい。

図5



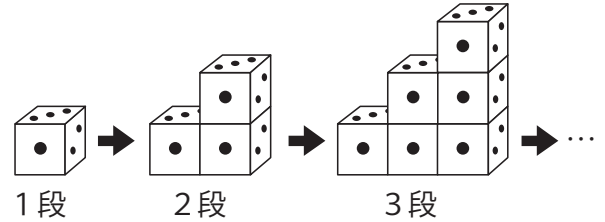
みどりさんとあきらさんは、【サイコロの積み方】にしたがって、机の上でサイコロを積んでいます。

【サイコロの積み方】

○ サイコロは面と面をきっちり合わせ、すきまなく積み、
階段の形になるように1段、2段、3段……と
順番に積んでいく。

○ どのサイコロも正面の面の目は1，右横の面の目は2，1段
上の面の目は3となるように積む。

※サイコロの向かい合う面の目をたすと、7になります。



みどり：3段の階段の形ができたね。正面、右横、
上から見るとそれぞれ(図1)のように見えるね。

あきら：見る方向をかえると、(図1)のほかには、
目が5の面が3つ、目が6の面が6つ見えるね。
でも、目が4の面は、どこから見ても見えないよ。

みどり：そうだね。見える面と見えない面があるね。

3段の階段の形で見える面の目をすべてたすと、72になるね。

あきら：じゃあ、さらにサイコロを積んで、7段の階段の形ができたとき、見える面の目をすべて
たすと、いくつになるのかな。

図1

正面	右横	上

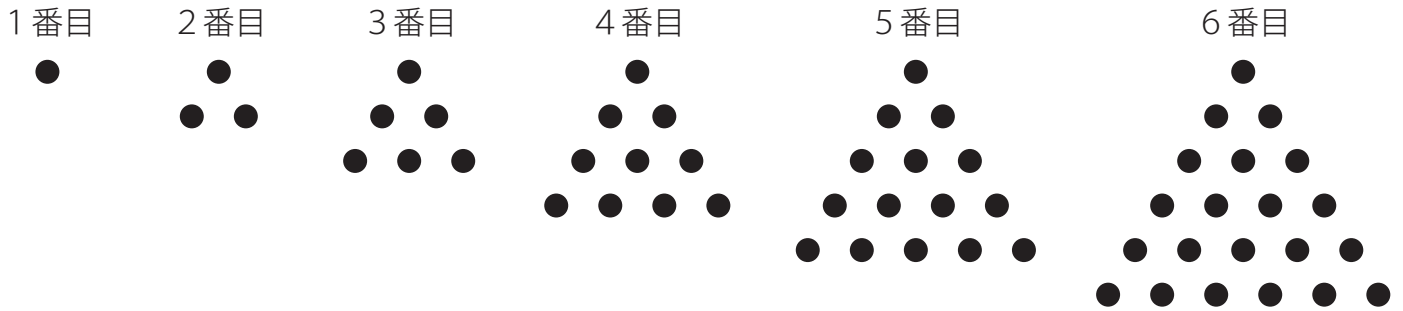
■問題

【サイコロの積み方】にしたがってサイコロを積み、7段の階段の形ができたとき、見える面
の目をすべてたすと、いくつになりますか。ことばや式などを使って説明してみよう。

説 明

7段の階段の形ができたとき、見える面の目をすべてたすと、()になる。

図のようにあるきまりにしたがって、おはじきを並べます。下の各問いに答えなさい。



■問題 1

翔太さんと花子さんは、5番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの数の求め方を考えました。

翔太： $4 \times 3 = 12$ だから、12個だね。

花子：私は $3 \times 3 + 3 = 12$ と考えて、12個とわかったよ。

- ① 翔太さんと同じように考えて、10番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの数を求める式と答えをかきなさい。
- ② 花子さんと同じように考えて、10番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの数を求める式と答えをかきなさい。
- ③ いちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの数が、33個になるのは何番目ですか。

■問題 2

次に、全部のおはじきの個数について、次のような表にかいて考えました。

	2番目	3番目	4番目	5番目	6番目	7番目	8番目	9番目	10番目	11番目
いちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの個数	3個	6個	9個	12個						
全部のおはじきの個数	3個	6個	10個	15個						

翔太：いちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの数と全部の個数の増え方にどんなきまりがあるのかな。

花子：5番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきを取ると、2番目に並べた形のおはじきが残るよね。

翔太：6番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきを取ると、3番目に並べた形のおはじきが残るんだ。

花子：つまり、7番目の全部のおはじきの個数は「ア」番目の全部のおはじきの個数に、7番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの個数「イ」個をたすと求められるから「ウ」個になるね。

翔太：では、10番目の全部のおはじきの個数は「エ」番目の全部のおはじきの個数に、10番目のいちばん外側ひとまわりに並ぶおはじきの個数をたすと求められるから「オ」個になるんだね。

- ① ア～オにあてはまる数をかきなさい。
- ② 2人の考え方を参考にして、19番目の全部のおはじきの個数を求める方法について説明し、その個数をかきなさい。

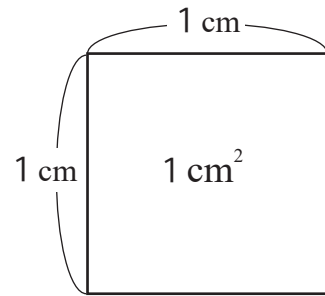
次の【言葉の意味】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【言葉の意味】

広さのことを面積といいます。

面積は、1辺が1 cmの正方形が何個分あるかで表すことができます。

1辺が1 cmの正方形の面積を1平方センチメートルといい、 1 cm^2 とかきます。

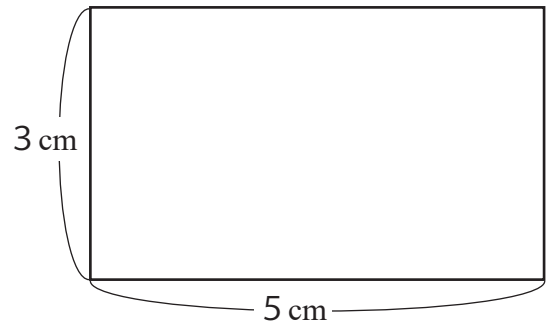


■問題 1

右の図のような、たて3 cm、横5 cmの長方形の面積を次の計算で求めました。

$$3 \times 5 = 15 \quad \text{より} \quad 15\text{ cm}^2$$

なぜ 3×5 というかけ算を使うのか、上の【言葉の意味】をもとに説明しましょう。

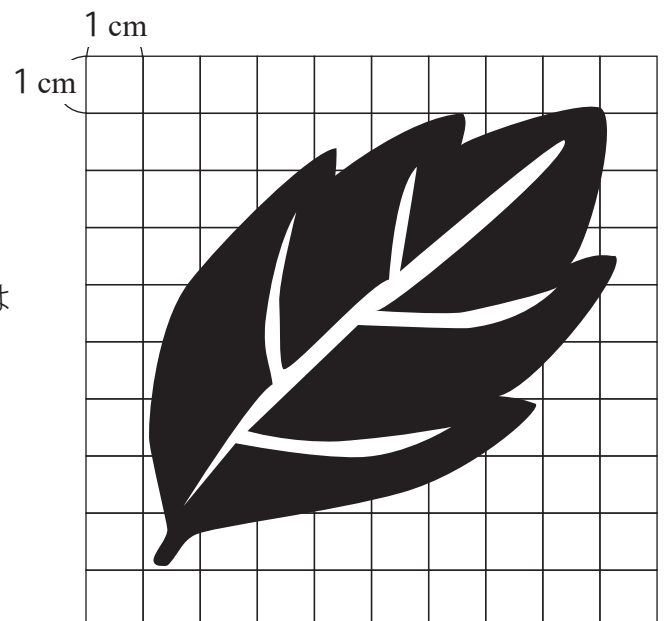


■問題 2

右の図のような葉の面積を、上の【言葉の意味】をもとに求めようとすると、どのようなむずかしさがありますか。説明しましょう。

また、できるだけ正確な面積を知るために、あなたはどのように工夫しますか。

説明しましょう。



たろうさんとかなこさんは、中等教育学校の図書館の本を借りるときに使用する図書館利用カードについて、図書担当の先生と話しています。次の〔会話文1〕を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

〔会話文1〕

たろう「〔図書館利用カード〕には、氏名と黒い線と数字が表示されています。」

かなこ「黒い線は^{注1)}バーコードですね。数字には何か意味があるのですか。」

先生「この数字は、だれのカードなのかを示す、利用者番号を表しています。バーコードで数字を読み取りますが、バーコードが読み取れないときは、直接数字を入力することで、貸し出しの手続きができます。」

たろう「わたしは図書委員なので、数字を入力したことがあります。数字をまちがえたときは、エラー表示が出ました。調べてみると、〔利用者番号のつくり〕にあるように、最後に入力する一番右側の数字は、その前に入力された^{注2)}通し番号が正しいかを確認する

『チェックデジット』というものとわかりました。そこで、その数字がどのように決められているのかについても調べて、〔チェックデジットの決め方〕にまとめました。」

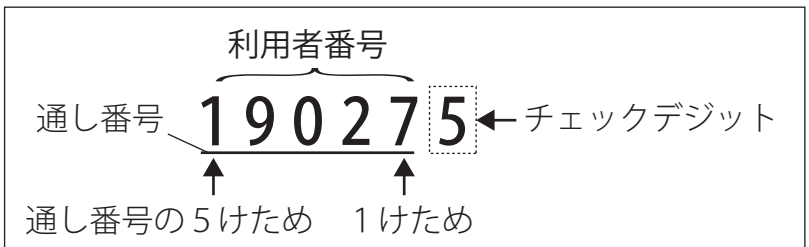
注1) バーコード：数字などを線の太さや間隔のちがいで表したもの。専用の装置で読み取ることができる。

注2) 通し番号：順番に割りふった個別の番号。

〔図書館利用カード〕



〔利用者番号のつくり〕



〔チェックデジットの決め方〕

中等教育学校の〔図書館利用カード〕では、利用者番号のチェックデジットは、次の手順①～④によって決められています。

例 通し番号 19027 の場合

- ① 通し番号の奇数番めのけた(5, 3, 1けため)の数の和を求め、その和に3をかけます。 ➡ ① $(1 + 0 + 7) \times 3 = 24$
- ② 通し番号の偶数番めのけた(4, 2けため)の数の和を出します。 ➡ ② $9 + 2 = 11$
- ③ ①と②でそれぞれ出た数の和を求めます。 ➡ ③ $24 + 11 = 35$
- ④ ③で求めた数に1けたの数を加えて、10でわり切れるようにします。 ➡ ④ $35 + \square = 40$
 $\square = 5$ (チェックデジット)

※④で加えた数を、チェックデジットとします。

(1) かなこさんの通し番号は「19053」です。このとき,図書館利用カードの利用者番号のチェックデジットは何か,あてはまる1けたの数を書きましょう。

(2) 次の【会話文2】を読んで,あとのア,イの各問いに答えましょう。

【会話文2】

先生「チェックデジットがあるため,入力する数をまちがえたときに,多くの場合でエラー表示が出ます。」

たろう「【チェックデジットの決め方】の手順①で,通し番号の奇数番めのけたの数の和にかける数は,3でなければならないのですか。」

先生「3と同じように使える数もありますが,使えない数もあります。まず,1をかける場合ですが,何もかけないときと同じなので,例えば,通し番号『19027』の数をまちがえて『91027』や『19072』と入力してしまっても,エラー表示が出ません。だから,1は使えません。」

かなこ「では,2はどうでしょうか。」

先生「2も使えません。通し番号が,『20001』から『20009』の生徒のチェックデジットを示した【表】を見てください。この【表】から,かける数として2が使えない理由を考えてみましょう。」

たろう「3をかける場合とは異なり,2をかける場合では,チェックデジットが同じになることがあります。例えば,通し番号『20003』の3をまちがえて「あ」と入力しても,チェックデジットが同じなので,エラー表示が出ません。だからかける数として2は使えないのですか。」

先生「その通りですね。」

かなこ「では,4から9までの数で,通し番号の奇数番めのけたの数の和にかける数として,3と同じように使えるものがあるか調べてみましょう。」

【表】

2をかける場合

通し番号	チェックデジット
20001	4
20002	2
20003	0
20004	8
20005	6
20006	4
20007	2
20008	0
20009	8

3をかける場合

通し番号	チェックデジット
20001	1
20002	8
20003	5
20004	2
20005	9
20006	6
20007	3
20008	0
20009	7

ア 【会話文2】の「あ」にあてはまる1けたの数を書きましょう。

イ 通し番号の奇数番めのけたの数の和にかける数として,4,5,6,7,8,9の中で,3と同じように使える数をすべて書きましょう。

☆公立中高一貫校 適性検査 2021年 東京都共同作成問題①

花子さん, 太郎さん, 先生が, 2年生のときに習った九九の表を見て話をしています。

花子: 2年生のときに, 1の^{たん}段から9の段までを何回もくり返して覚えたね。

太郎: 九九の表には, たくさんの数が書かれていて, 規則がありそうですね。

先生: どのような規則がありますか。

花子: 9の段に出てくる数は, 一の位と十の位の数の和が必ず9になっています。

太郎: そうだね。9も十の位の数を0だと考えれば, 和が9になっているね。

先生: ほかにほかにありますか。

表1

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

太郎: 表1のように4個の数を太わくで囲むと, 左上の数と右下の数の積と, 右上の数と左下の数の積が同じ数になります。

花子: $4 \times 9 = 36$, $6 \times 6 = 36$ で, 確かに同じ数になっているね。

先生: では, 表2のように6個の太わくで囲むと, 太わくの中の数の和はいくつになるか考えてみましょう。

表2

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

花子：6個の数を全て足したら、273になりました。

先生：そのとおりです。では、同じように囲んだとき、6個の数の和が135になる場所を見つけることはできますか。

太郎：6個の数を全て足せば見つかりますが、大変です。何か規則を用いて探^{さが}すことはできないかな。

花子：規則を考えたら、6個の数を全て足さなくても見つかることができました。

■問題

6個の数の和が135になる場所を一つ見つけ、解答らんの太わく中にその6個の数を書きなさい。

また、花子さんは「規則を考えたら、6個の数を全て足さなくても見つかることができました。」

と言っています。6個の数の和が135になる場所をどのような規則を

用いて見つけたか、図1のAからFまでをすべて用いて説明しなさい。

図1

A	B	C
D	E	F

みつこさんとたかおさんは、東京都にある建築物の模型もけいが展示されているコーナーを見学しています。

みつこ：国会議事堂を見つけたよ。(図1)

たかお：中央の建物を中心に左右対称さゆうたいしやうになっているみたいだね。

みつこ：中央の建物の屋根の形が階段かいだんみたいだね。

たかお：自由研究で、国会議事堂の模型を作るというのはどうかな。

みつこ：屋根の形が難むずかしそうだけど、立方体を積みば、似たような形になるね。

たかお：今度学校で作ってみよう。

図1



次の日に二人は学校で、国会議事堂の屋根の模型の作り方について話し合いました。

たかお：立方体を使って3段作ったよ。(図2)

みつこ：立方体が上から1段めに1個、上から2段めに4個、上から3段めに9個あって、上の段の中央が下の段の中央の真上になるように積んであるね。

たかお：もし同じように5段めまで積んだら、上から5段めは立方体が25個になるね。

みつこ：屋根の模型は上から何段めまで作ることにしようか。

たかお：上から10段めまででどうかな。

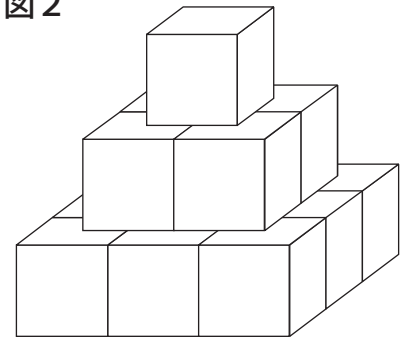
みつこ：それでいいと思うよ。色もつけたいね。

たかお：色画用紙をはって、色をつけよう。

みつこ：使う色画用紙の枚数をできるだけ少なくしたいね。

たかお：積んだときに見えていない部分には色画用紙をはる必要はないね。

図2



■問題

同じ大きさの立方体を図2と同じようにして10段積んで作った模型の表面に、4枚で立方体の一つの面の大きさになっている正方形の色画用紙をはるとき、必要な色画用紙の枚数は何枚になるか求めなさい。また、求め方を言葉と計算式を使って説明しなさい。

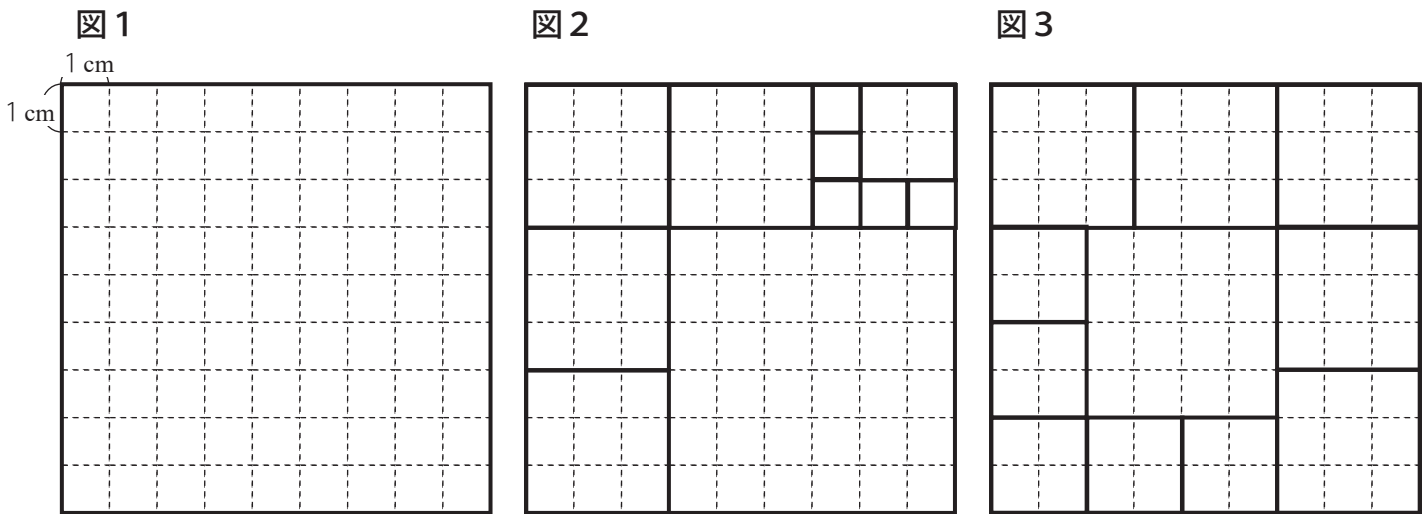
ただし、ゆかに置いたときにゆかと接している面や、立方体と立方体が接している部分には色画用紙をはらないこととします。

りょうさんとみさきさんが、教室で図形についての話をしています。

りょう：(図1)は1目盛りが1cmの方眼紙に、方眼紙の線に沿って鉛筆で1辺の長さが9cmの正方形を書いたものなんだ。(図1)に方眼紙の線に沿って鉛筆で線を書き加えて、いくつかの正方形に分ける方法を考えているんだよ。

みさき：正方形以外の図形ができないように分ければいいのね。例えばどのような分け方があるの。

りょう：(図2)は(図1)を1辺の長さが6cmの正方形1個、1辺の長さが3cmの正方形4個、1辺の長さが2cmの正方形1個、1辺の長さが1cmの正方形5個の計11個の正方形に分けた図だよ。



みさき：(図3)は(図1)を1辺の長さが4cmの正方形1個、1辺の長さが3cmの正方形5個、1辺の長さが2cmの正方形5個の計11個の正方形に分けた図だね。

りょう：(図2)と(図3)はどちらも11個の正方形に分けられているけど、分けるときに書き加えた線の長さの合計には差がありそうだね。

みさき：どれだけ差があるのか調べてみようよ。

■問題1

どれだけ差があるのか調べてみようよ。とありますが、(図2)と(図3)において、分けるときに書き加えた線の長さの合計が長い方を選んで○で囲み、さらに何cmだけ長いのか答えなさい。

図2・図3 の方が「 」cmだけ長い。

りょう：(図1)をいくつかの正方形に分ける方法はいろいろあっておもしろいね。

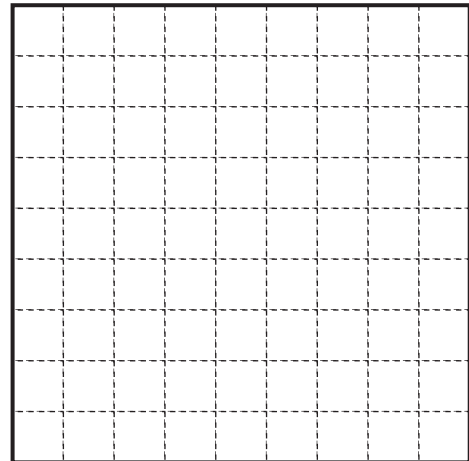
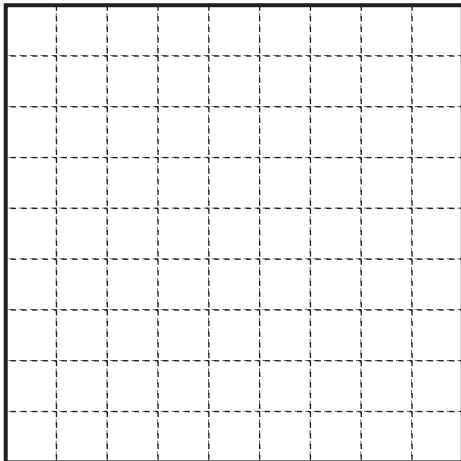
みさき：もっといろいろな分け方を調べてみようよ。

■問題2

もっといろいろな分け方を調べてみようよ。とありますが、(図1)に方眼紙の線に沿って鉛筆で線を書き加えていくつかの正方形に分けるとき、正方形の数の合計が10個、12個となるような分け方を、それぞれ一つずつ解答らんに合わせて答えなさい。

ただし、正方形以外の図形ができないように分けることとします。

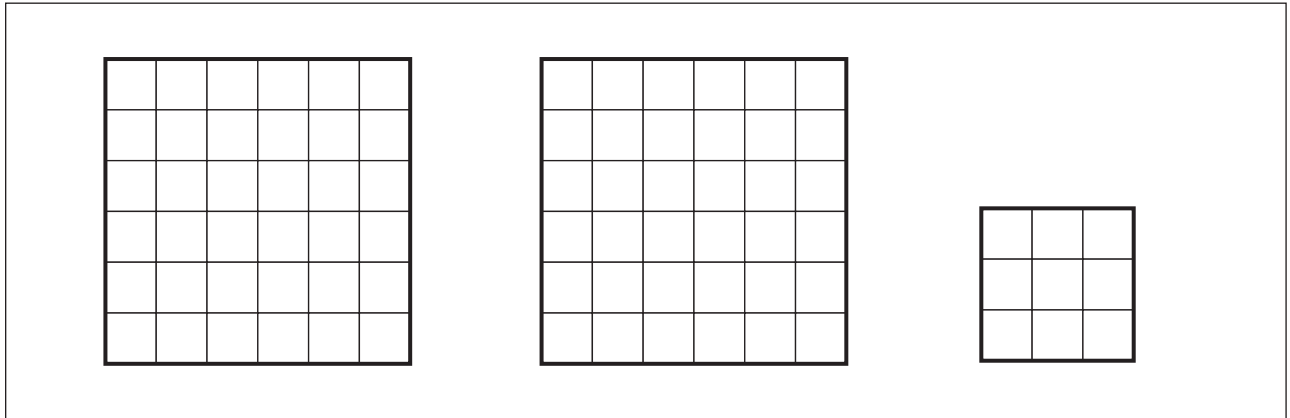
また、定規を用いて(図2)や(図3)のようにはっきりとした線を書きなさい。



りょう：(図4)は1目盛りが1cmの方眼紙に、方眼紙の線に沿って鉛筆で1辺の長さが6cmの正方形を2個、1辺の長さが3cmの正方形1個の計3個の正方形を書いたものだよ。

この3個の正方形の面積の合計は 81cm^2 で、(図1)の正方形の面積と同じだね。

図4



みさき：方眼紙の線に沿って3個の正方形を書いたとき、その3個の正方形の面積の合計が 81cm^2 になるようなものが、(図4)の1辺の長さがそれぞれ6cm, 6cm, 3cmの組み合わせ以外にもあるのかな。

りょう：いっしょに探してみようよ。

■問題3

いっしょに探してみようよ。とありますが、1目盛りが1cmの方眼紙に、方眼紙の線に沿って鉛筆で3個の正方形を書いたとき、その3個の正方形の面積の合計が 81cm^2 になるような組み合わせを、(図4)の6cm, 6cm, 3cm以外で1組見つけて、その3個の正方形の1辺の長さをそれぞれ答えなさい。

こういちさんとかつのぶさんが話をしています。

こういち：今からカードを作りたいんだけど。

図 1

かつのぶ：手伝うよ。どんなカードを作るの。



こういち：1と2と3の数字がそれぞれ一つずつ表にだけ書かれた

正方形のカードを、それぞれ同じ枚数だけ作るんだ(図1)。

かつのぶ：ここに、書ける線の太さのちがう3本の新しいボールペンを用意したよ。

こういち：「0.3mm」と「0.5mm」と「0.7mm」だね。

かつのぶ：どのボールペンで何枚のカードが作れるかな。

こういち：かつのぶさんが用意した、書ける線の太さのちがうボールペンについて、どれくらいの長さが書けるか分かる表を用意してみたよ(表1)。

かつのぶ：それぞれ何m書くと、インクが全体からどれくらい減るのが分かるようになっているんだね。

表 1

書ける線の太さ	書いた長さ	インクの減った割合
0.3mm	24m	5.9%
0.5mm	30m	4.4%
0.7mm	15m	2.4%

かつのぶ：カードに数字の1を書くためには6.5cm, 2を書くためには19.7cm, 3を書くためには25.1cmの長さがそれぞれ必要になるみたいだよ。

こういち：ではボールペンを使って、カードを作ろうかな。

かつのぶ：私は、^{わたし}私は、こういちさんとは別の、書ける線の太さがちがうボールペンを使って書こうかな。

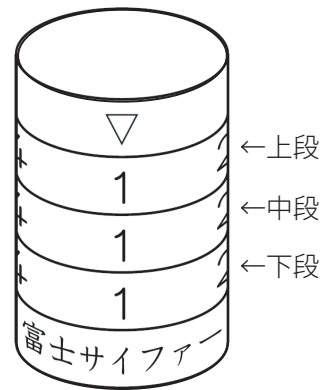
■問題

かつのぶさんが用意したボールペンのうち1本を使って、1と2と3が書かれた正方形のカードをそれぞれ同じ枚数用意する。このとき、1と2と3の数字が書かれた正方形のカードを合わせて最大で何枚作れるか、「0.3mm」, 「0.5mm」, 「0.7mm」のうち二つを選び、○で囲み、それぞれについて答えなさい。

0.3mm…… 枚, 0.5mm…… 枚, 0.7mm…… 枚

暗号に夢中になった2人のところに、タケオさんのおじさんが次の図1のような暗号機械（以下、富士サイファー）を持ってきてくれました。

図1 富士サイファー



タケオ：おじさん、ありがとうございます。富士サイファーは、
三つのダイヤルがうめこまれた機械なんですね。

おじさん：そうだよ。上段・中段・下段の三つのダイヤルにはそれぞれ1から4の数字が一つずつ順に書かれていて、上段を回転させると中段・下段も連動して回転するんだ。

レイコ：上段の上にある、▽のマークを目印に数字を見るんですね。

上段は90度ずつ回転して、マークの下に必ず数字が来るようになっていて、最初は3段とも1になっているんですね。

以下は、おじさんから聞いた富士サイファーの仕組みです。

富士サイファーの仕組み

- ・上段は上から見たときに時計回りに90度ずつ回転することができる。
(※なお、このように上段を時計回りに90度回転させることを“1回まわす”という。)
- ・上段を4回まわした後、中段は連動して、時計回りに90度だけ回転する。
- ・上段を2回まわした後、下段は連動して、反時計回りに90度だけ回転する。

表1 上段をまわしたときの、上段、中段、下段の数字

上段をまわす回数	上段の数字	中段の数字	下段の数字
0回	1	1	1
1回	2	1	1
2回	3	1	4
3回	4	1	4
4回	1	2	3

おじさん：ここに文字の並びを作る紙（図2）とまわす回数を書き入れる紙（図3）があるよ。

図2 文字の並びを作る紙



図3 まわす回数を書き入れる紙



おじさん：「ア」「イ」「ウ」「エ」「オ」の5文字の中から、3文字を選び、文字の並びを作る紙に書き入れるんだ。左から順に上段,中段,下段に対応するものとするよ。

そして、まわす回数を書き入れる紙には1から16までの整数を書き入れるんだ。

おじさんは次の図4,図5のように書き入れ、2人にわたしました。

図4 おじさんが書き入れた文字の並びを作る紙

< イイオ >

図5 おじさんが書き入れたまわす回数を書き入れる紙

((13))

おじさん：その紙(図5)に書かれた数字の分だけ富士サイファアの上段をまわしてごらん。

タケオ：上段が2,中段が4,下段が3になりました。

おじさん：この富士サイファア用暗号表(表2)を見てごらん。

表2 富士サイファア用暗号表

		上段に対応する語					中段に対応する語					下段に対応する語				
		ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ
各段の数字	1	は	ひ	ふ	へ	ほ	さ	し	す	せ	そ	わ	を	ん	ゝ	ー
	2	ほ	は	ひ	ふ	へ	そ	さ	し	す	せ	ー	わ	を	ん	ゝ
	3	へ	ほ	は	ひ	ふ	せ	そ	さ	し	す	ゝ	ー	わ	を	ん
	4	ふ	へ	ほ	は	ひ	す	せ	そ	さ	し	ん	ゝ	ー	わ	を

おじさん：上段に対応する文字は「イ」だったね。富士サイファアの上段の数字は2だから、上段に対応する文字「イ」は「は」に対応するよ。他の段はどうかな。

レイコ：中段に対応する文字「イ」は「せ」、下段に対応する文字「オ」は「ん」に対応するんですね。つまり、<イイオ>は《はせん》と解読できます。

■問題

文字の並びを作る紙に書き入れられた文字の並びを富士サイファアを使って解読したところ、《ふしゝ》となりました。文字の並びを作る紙に書き入れられた文字の並びと、まわす回数を書き入れる紙に書き入れられた数字を、それぞれ答えなさい。

小学6年生のレイコさんとタケオさんは、クラスの団長と副団長になりました。2人は、優勝^{ゆうしょう}に向けて騎馬戦^{きばせん}の作戦^{いっしょ}を一緒に立てた後、作戦の伝達方法について話し合っています。

レイコ：私たちが一緒に考えた作戦を、相手にもれないように自分のクラスの人に伝えるには暗号を使ったらどうかな。

タケオ：暗号で伝えるには、文字の並び^{なら}とそれを読み取る方法を作ることが必要だね。

レイコ：まず、文字の並びを作る紙(図1)に、あいうえお表(図2)の中に含まれる文字^{ふく}を使って書き入れるよ。次に、かぎの紙(図3)の□には左か右を、○には1から9までの整数を書き入れるよ。

レイコさんは図1、図2の紙に次の図4、図5のように書き入れ、タケオさんにわたしました。

図1 文字の並びを作る紙

< >

図2 あいうえお表

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわをん°

図3 かぎの紙

【□：○】

図4 レイコさんが書き入れた文字の並びを作る紙

<えあすいか>

図5 レイコさんが書き入れたかぎの紙

【左：3】

タケオ：図4の紙には<えあすいか>という5文字が書き入れられているね。図2の表には「あ」から「°」までの文字が右に向かって横1列に書かれていて、図5の紙には【左：3】と書き入れられているんだね。これらをどのように読み取ればいいかな。

レイコ：図5の【左：3】とは、図4の紙に書き入れられた文字を図2の中からそれぞれ探^{さが}し、その文字の一つ左側の文字から数えて、左へ3文字めの文字として読むという意味だよ。つまり、「え」「あ」「す」「い」「か」は、表1のように「あ」「ん」「こ」「°」「う」となるので、<えあすいか>は<<あんこ°う>>と読み取ることができるね。今回は書き入れたかぎの紙が1枚なので、これでこの暗号が解読できたよ。「°」と「°」もそれぞれ一つの文字として考えるよ。「あ」の一つ左の文字は「°」になるからね。

タケオ：かぎの紙の枚数を増やせば解読が難しくなるね。

2人は、以下のようにルールをいくつか付け加えました。

表1 【左：3】の場合の図4の紙に書き入れられた文字の対応

「え」	「あ」	「す」	「い」	「か」
↓	↓	↓	↓	↓
「あ」	「ん」	「こ」	「ゝ」	「う」

■ルール

- ・図3のかぎの紙を3枚用意し、それぞれ書き入れたものをかぎの紙1、かぎの紙2、かぎの紙3とする。
かぎの紙1の□には左、かぎの紙2の□には右、かぎの紙3の□には左とそれぞれ書き入れられている。
- ・かぎの紙1の○に書き入れられた数字と、かぎの紙2の○に書き入れられた数字と、かぎの紙3の○に書き入れられた数字をすべてかけ合わせると12になる。
- ・文字の並びを作る紙に書き入れられた文字を、かぎの紙1を使って読み取り、次にかぎの紙1を使って読み取った文字をかぎの紙2を使って読み取り、さらにかぎの紙2を使って読み取った文字をかぎの紙3を使って読み取る。これで暗号の解読となる。

■問題

文字の並びを作る紙に書き入れられた文字の並びをこのルールで解読すると「みぎ」となりました。

文字の並びを作る紙に書き入れられた文字の並びを答え、このときのかぎの紙1、かぎの紙2、かぎの紙3の○に書き入れられた数字を、1から9までの整数の中からそれぞれ選んで答えなさい。

小学6年生のキミオさんとシンヤさんは、学年行事である3クラス^{たいごう}対抗の体育大会を行っています。
2人のクラスは2組です。玉入れをする前の時点での各クラスの順位と得点は、1位が1組で104点、
2位が2組で100点、3位が3組で96点です。

2人は、玉入れが終わり、結果発表を待っています。

キミオ：この種目を終えたところで1位になりたいね。玉入れの得点はどう決まるのかな。

シンヤ：1個の玉を入れるとクラスの得点に1点加えられるよ。^{わたし}私たち2組は、1位の1組に
4点差だから、1組の入れた玉の個数より少なくとも5個以上多く入れないと1組をぬいて、
1位になれないね。ただ、3位の3組も私たちのクラスとは4点差しかないからそこにもぬかれ
てはいけないね。

キミオ：玉は3クラス合計で25個入っていたらしいよ。

■問題

玉入れを終えたとき、3クラスの順位が、1位2組、2位3組、3位1組となるには、3クラスの入れた玉の個数がどのようなときですか。

考えられる個数の組み合わせの一つを答えなさい。

なお、3クラスの入れた玉の個数の合計は25個とします。

おさむさんとさくらさんは、先生と工作クラブで活動しています。

先生：工作用紙でできている立方体にシールをはりましょう。

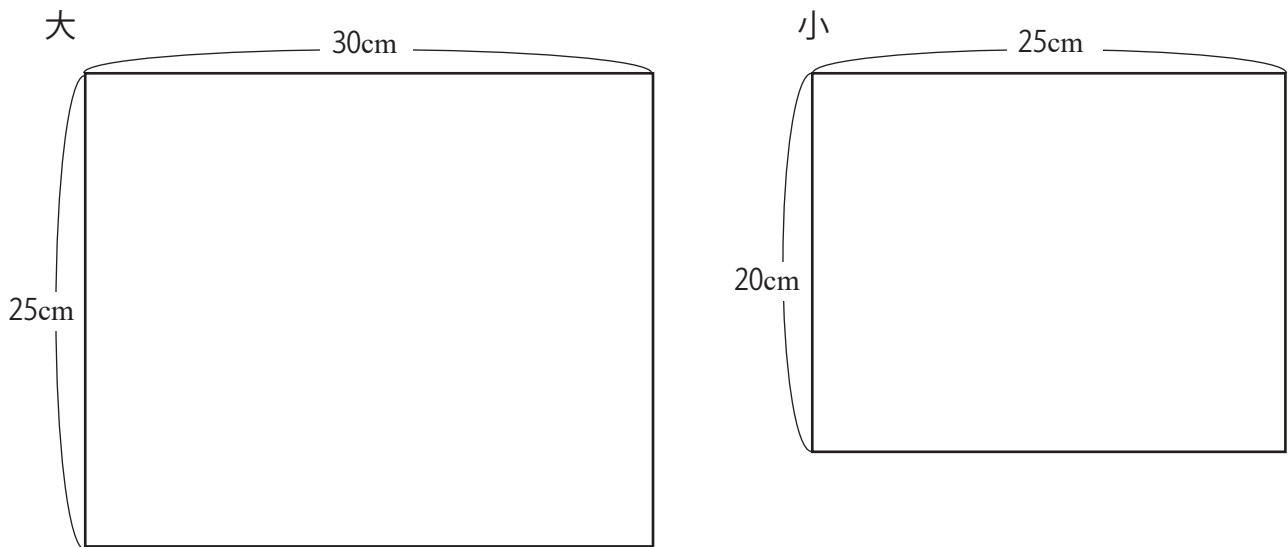
おさむ：ここに赤、青、緑の3色のシールがあります。

先生：このシールを使って3色の立方体を作りましょう。これらの立方体を使って、あとでゲームを行いたいと思います。

さくら：シールには大、小の2種類の大きさがありますね。

先生：このシールの大きさは、**図1**のように、大は縦25cm、横30cm、小は縦20cm、横25cmです。

図1 シールの大きさ



さくら：シールをはっていない立方体は120個あります。まずは40個の立方体の全ての面に赤のシールをはりましょう。立方体の1辺の長さは4cmですね。

おさむ：1辺が4cmの正方形をいくつか切り取って、立方体にはればいいね。

さくら：大のシール6枚を使えばいいかな。

おさむ：それはもったいないよ。赤の大のシール6枚だけしか使わないと、立方体2個分も余りが出てしまうよ。

■問題

おさむさんは「立方体2個分も余りが出てしまうよ。」と言っています。

余りが立方体2個分よりも少なくなるような大と小のシールの使用枚数を答えなさい。

ただし、答えは1通りではありません。考えれるうちの一つを解答らん(とらん)に書きなさい。

シールから正方形をできるだけ切り取った後に残る切れはしは、余りとは考えません。

なお、1枚も使われなかったシールの大きさの解答らん(とらん)は空らん(とらん)にしなさい。

シールの大きさ	大	小
枚数	枚	枚

はるか：昨日, 計算問題の宿題が出たね。

くるみ：^{わたし}私は問題を解いてから, 答えを確かめるために電卓^{でんたく}を使ったよ。問題のとおり^おに数字や記号のボタンを押したら, 電卓に表示された結果が, 正しい答えにならなかったんだ(表1)。

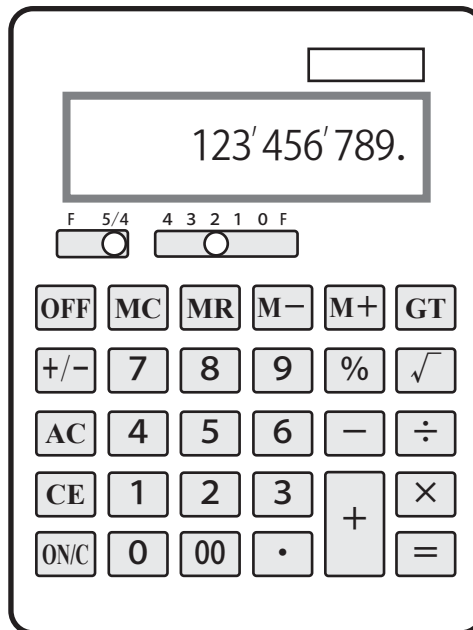
表1

くるみさんの解いた問題	$3 \times 7 - 2 \times 3 + 15$
電卓に表示された結果	72
正しい答え	30

おうき：何が起こったのか考えてみよう。

くるみ：私が計算に使った電卓を持ってきたよ(図1)。

図1 くるみさんが持ってきた電卓



はるか：くるみさんの電卓で3, ×, 7, -, 2と押した後, 2回目の×を押したときに, もう19という数字に変わっているよ。つまり電卓は, ボタンを押した順番に計算をしているんだね。

おうき：本当だ。ボタンを押す記号や順番を工夫^{くふう}する必要があるね。この電卓を使って $3 \times 7 - 2 \times 3 + 15$ の正しい答えである30を表示させるために, どの順番でボタンを押せばいいか分かった気がするよ。

■問題1

$3 \times 7 - 2 \times 3 + 15$ を電卓で計算し, 正しい答えである30を表示させるには, 数字や記号をどのような順番で押せばよいか, 答えなさい。また, なぜその順番で押せばよいと考えたか説明しなさい。ただし, 0から9までの数字と, +, -, ×, ÷, =のみを使うこと。

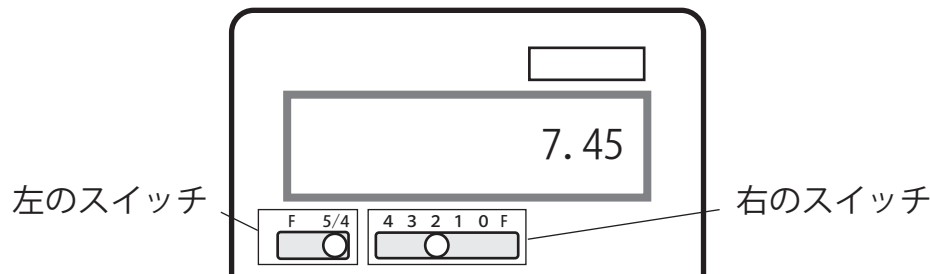
くるみ：機械は便利だけど、操作によって何が起きているのかを考えて使うことが大切だね。
 おうき：そうだね。仕組みや機能を知って、工夫することで、目的に合わせた使い方ができるね。
 はるか：他にもこの電卓に表示された結果が正しい答えにならない問題があったよ(表2)。

表2

はるかさんの解いた問題	5. 8 1 9 + 1. 6 2 7
電卓に表示された結果	7. 4 5
正しい答え	7. 4 4 6

おうき：これは小数第三位で四捨五入しているんじゃないかな。左にあるスイッチが、四捨五入を表す 5/4 の位置にあるからだと思うよ(図2)。

図2



くるみ：右にあるスイッチは小数第何位まで表示できるかを表しているんだね。
 はるか：右のスイッチの場所をいろいろと変えて計算をしてみたよ(表3)。

表3 右のスイッチの場所を変えて計算した結果

左のスイッチの場所	右のスイッチの場所	問題	表示された結果
5/4	1	5. 8 1 9 + 1. 6 2 7	7. 4
5/4	2	5. 8 1 9 + 1. 6 2 7	7. 4 5
5/4	3	5. 8 1 9 + 1. 6 2 7	7. 4 4 6

おうき：これで、左のスイッチと右のスイッチの使い方が分かったね。
 はるか：便利な機能だけど、使い方によっては表示される数字が正しい答えにならないね。

■問題2

左のスイッチを 5/4, 右のスイッチを 2 に合わせて、次のように電卓で計算をしました。

- 「 あ 」と 1. 0 2 9 を足したら 3. 0 0 と表示された。
- 「 い 」と 0. 8 0 4 を足したら 1. 0 4 と表示された。
- 「 あ 」と「 い 」を足したら「 う 」と表示された。
- 「 う 」に入れることができる数を二つ答えなさい。また、「 う 」に入れることができる数が一つではない理由を答えなさい。

のりこさんたちの住んでいる地域^{ちいき}では、4色の組別^{たいごう}対抗で行われる地域スポーツフェスティバル(体育祭)の企画^{きかく}・運営に小学生が参加しています。あとの問いに答えましょう。

のりこさんとまさおさんは、1レース6人の10レースで行う徒競走^{たんどう}を担当しており、表1と表2をもとに配点について話し合っています。

表1 昨年度の徒競走の順位ごとの配点

	1位	2位	3位	4位以下
配点	10	6	3	1

※配点のルール……1位の配点を最も高くし、以下は順位ごとに配点を低くする。
4位以下は同じ配点にする。

表2 昨年度の各組の徒競走の結果

	順位別の人数				合計得点
	1位	2位	3位	4位以下	
赤組	4	1	1	9	58
白組	3	3	0	9	あ
青組	2	3	3	7	54
黄組	1	3	6	5	51

【徒競走の配点の話し合い】

のりこ：昨年度は、赤組の合計得点が一番高かったよ。でも1位から3位までの人数では黄組が一番多いのに、黄組は合計得点が一番低かったよ。配点を見直してはどうか。

まさお：そうだね。表1の配点を変えて、各組の順位が入れかわるか考えてみよう。

のりこ：それでは、まず、1位の10点、4位以下の1点は変えずに2位と3位の配点をどうすればよいか考えてみよう。青組より黄組の合計得点の方が高くなることはあるのかな。

まさお：2位の配点だけを変えても青組と黄組の順位は入れかわらないよ。

のりこ：たしかにそうだね。3位の配点を4点に変えれば、青組と黄組の合計得点は同点になるね。では、赤組より黄組の合計得点の方が高くなることはあるのかな。

まさお：例えば、2位(い)点、3位(う)点の場合はどうだろう。

のりこ：それなら赤組より黄組の合計得点が高くなるね。配点次第で各組の順位も変わるんだね。

- 問題1 昨年度の配点が表1の場合、表2のあに当てはまる数を答えましょう。
- 問題2 まさおさんが「2位の配点だけを変えても青組と黄組の順位は入れかわらないよ。」と言っていますが、その理由を表1や表2の中の数や言葉を使って説明しましょう。
- 問題3 【徒競走の配点の話し合い】の(い)、(う)に当てはまる整数の組み合わせを1つ答えましょう。

みなみさんは、うるう年について興味をもち、調べています。【みなみさんと先生の会話文】を読み、あとの問題に答えなさい。

【みなみさんと先生の会話文Ⅰ】

みなみさん：①わたしが生まれた西暦^{せいれき}2008年はうるう年で、1年が366日でした。そもそも、うるう年は何のためにあるのでしょうか。

先生：もし1年をつねに365日にしてしまうと、カレンダー上での日付、つまり暦^{こよみ}と実際の季節に、毎年少しずつずれが生まれてしまいます。そのため、うるう年で暦を調整する必要があるのです。

みなみさん：どうしてずれが生まれるのですか。

先生：地球が太陽のまわりを回って1周するのにかかる時間が、ちょうど365日ではないからです。この日数を調べると、平均でおよそ365.2422日ということがわかっていて、この日数を「1太陽年」とよんでいます。

みなみさん：そうなんです。暦と季節のずれを調整しないと、どうなるのですか。

先生：古代エジプトを例に考えてみましょう。古代エジプトで用いていた暦では、1年をつねに365日としていました。すると、農業をするうえで大きな問題が起こりました。

たとえば、毎年5月1日に種をまくという農業のスケジュールを組んでいたとしましょう。300年後には、どのようなことが起こるのでしょうか。

みなみさん：②初めに決めた5月1日と、300年後の5月1日では、季節に大きなずれが生まれてしまいます。これでは、種をまいても作物が育たないかもしれません。

先生：こういった問題を解決するために、人類は暦をできるだけ1太陽年に近づける必要があったのです。古代ローマでは、紀元前46年ごろから「ユリウス暦」という暦が使われていて、1年を365日として、4年に1度うるう年をもうけました。

みなみさん：③1年の平均日数は、 $(365+365+365+366) \div 4$ と計算できるので、ユリウス暦での1年の平均日数は、365.25日であるといえそうですね。それでもまだ、1太陽年の365.2422日と比べるとほんの少しずれがあります。

先生：現在はこのずれをさらに小さくするために、「グレゴリオ暦」という暦が広く用いられており、次の【資料】のしくみでうるう年が決められています。

【資料】

平年を365日、うるう年を366日とする。

- (1) 西暦の年が4でわり切れる年はうるう年とする。
- (2) ただし、(1)のうち、100でわり切れる年はうるう年とせず、平年とする。
- (3) ただし、(2)のうち、400でわり切れる年はうるう年とする。

みなみさん：去年の西暦2020年は、4でわり切れるからうるう年ですね。西暦2000年は、100でわり切れますが400でもわり切れるので、うるう年です。このグレゴリオ暦は、いったいどのようにして決められたのでしょうか。

先生：ローマ教皇のグレゴリウス13世が、当時の学者たちを集めて、覚えやすく、暦と季節のずれができるだけ生まれにくいものを定めたようです。

みなみさん：暦を定めるのにも、きっと大変な苦労があったのでしょうか。

■問題 1

① _____ について、西暦2008年を1回目のうるう年とします。現在のグレゴリオ暦を使い続けるとき、20回目のうるう年は西暦何年になるか答えなさい。

■問題 2

② _____ について、1年をつねに365日とした場合、初めに決めた5月1日と300年後の5月1日では、およそ何日分、暦と季節のずれが生まれますか。1太陽年を365.2422日とし、小数第1位を四捨五入して答えなさい。

■問題 3

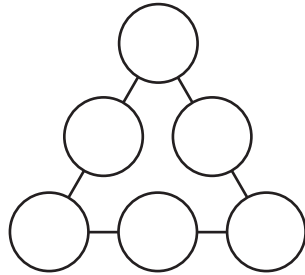
③ _____ について、ユリウス暦の1年の平均日数は365.25日ですが、【資料】から、グレゴリオ暦の1年の平均日数は何日といえますか。小数第4位まで答えなさい。

たかしさんとみどりさんは、それぞれ、○の中に数字を入れる「数字ならべ」を考えました。

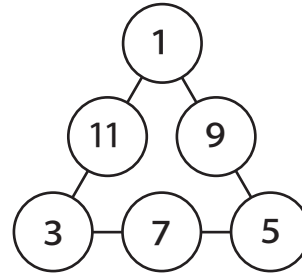
たかしの「数字ならべ」

- ・○の中には、1, 3, 5, 7, 9, 11の数字を1つずつ入れる。
- ・それぞれの辺の上にある3つの数の和は等しくなるようにする。

和が15の場合



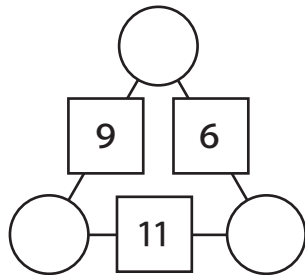
解答



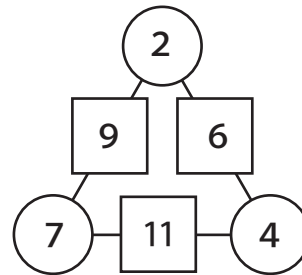
みどりの「数字ならべ」

- ・○の中には、数字を1つずつ入れる。
- ・□の中の数字は、その□のとなりにある、2つの○の中の数字の和になっている。

問題



解答

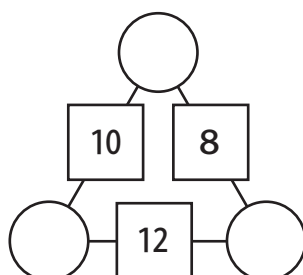


■問題 1

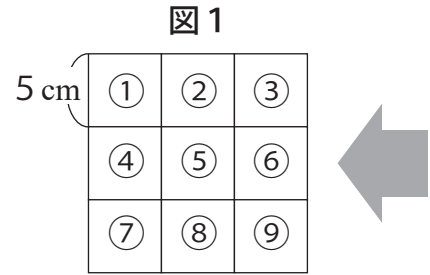
たかしの「数字ならべ」で、3つの数の和が21の場合、○の中に数字を入れなさい。

■問題 2

みどりの「数字ならべ」で、下の問題のとき、○の中に数字を入れなさい。



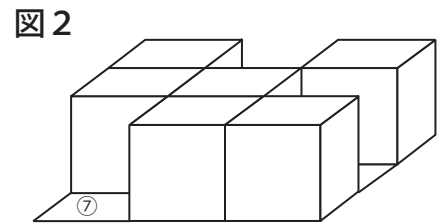
右の図1のように、1辺5 cmの正方形に①から⑨までの番号が書かれています。次の【決まり】にしたがって、この上に1辺5 cmの立方体のブロックを置いていきます。



【決まり】

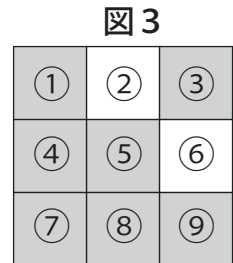
はじめに①の場所にブロックを置く。次に、①から数字を3つ進めた④の場所にブロックを置く。さらにそこから1つ進めた⑤の場所にブロックを置く。以降も同じように 3つ, 1つ, 3つ, 1つの順にくり返し進め、その場所にブロックを置いていく。ただし、進める際に⑨を超える場合には、①に戻って数字を進めることとする。また、すでにブロックが置かれている場合は、置かれているブロックの上に置くこととする。

例えば、6個目までブロックを置いたとき、①, ④, ⑤, ⑧, ⑨, ③の順でその番号の場所にブロックが置かれることになり、そのときにできた立体は、右の図2のようなになる。

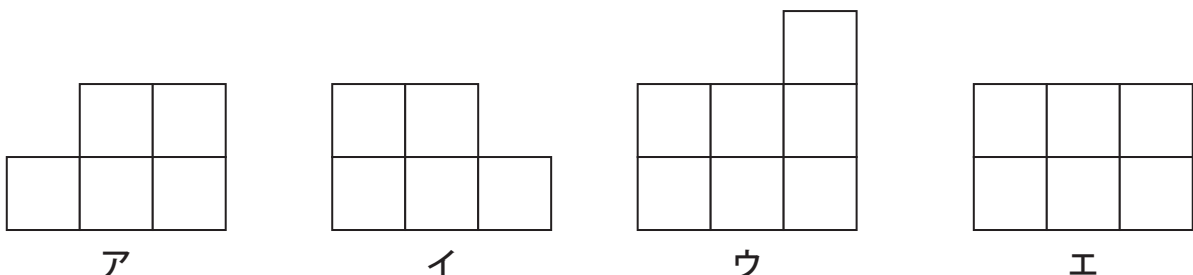


(1) 右の図3は、いくつかのブロックを置いた状態を真上から見た図です。

ただし、■の場所はブロックが置かれていることを表しています。はじめてこの図3の状態になるのは、何個目のブロックを置いたときかを答えなさい。



(2) 17個目のブロックを置いたときにできる立体について、図1の矢印の方向から見た図として正しいものを次のア～エの中から選びなさい。



(3) 185個目のブロックを置いたとき、番号⑧の場所には何個のブロックが置かれているかを求めなさい。また、どのように考えたかを式やことばなどを用いて説明しなさい。

(4) できた立体の高さが番号⑤の場所で120cmであるのは、ブロックを全部で何個置いているときか、考えられる場合をすべて求めなさい。

ゆうか：うん。例えばこれよ(図2)。このつき方(「スタート(0秒)」)からはじめたら60秒後に
どういふふうについているかもわかるのよ。

お母さん：それじゃあ、はじめから60秒後に右から5番目の電球は点灯しているのかしら。

ゆうか：ちょっと待って。60秒後に右から5番目の電球は、「い」ね。

■問題2

図2について、会話文中の「い」にあてはまるように、「点灯している」か「点灯していない」
かを書きなさい。

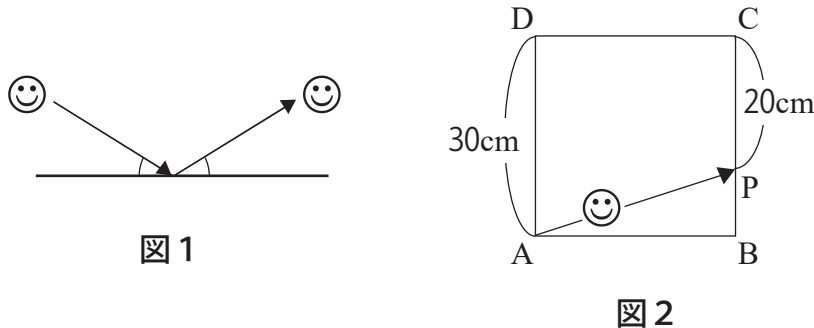
また、どのように考えたのかを言葉や数、式、図、表などを使って説明しなさい。

太郎さんと花子さんは、様々なロボットについて研究している次郎博士の研究室を訪問しています。

花子：まっすぐ進んでいるロボットが、壁にぶつかるとどうなるのですか。

博士：まっすぐ進んで壁にぶつかると、壁まで進んできた角度と同じ角度に向きを変えて進みます。

- (1) 図1は、ロボットが壁にぶつかり、進んできた角度と同じ角度に向きを変えて進む様子を示した図です。また、このロボットは角で止まります。このロボットが図2の、底面が1辺30cmの正方形である箱の角Aから辺BCの点Pに向けて進むとします。このとき、ロボットは壁に何回ぶつかり、図2のどの角で止まるのかA～Dで答えましょう。ただし、点Pで辺BCとぶつかることも1回と数えることとし、角にぶつかって止まることは1回と数えないこととします。また、ロボットの大きさは考えないこととします。



壁に	回ぶつかり、角	で止まる
----	---------	------

花子：このロボットがどの角で止まるのか、簡単に見つける方法はないのかな。

博士：実は折り返した図形をいくつかかくと、どの角度で止まるのか、壁に何回ぶつかるのかを考えやすくなりますよ。

花子：それならいろいろな形の底面で、ロボットがどのように動くのかも考えられそうね。

- (2) 図3は、(1)のロボットが角Aから進み、壁にぶつかり、角Dで止まったときの通り道を、底面を折り返した図形を用いてまっすぐな通り道として表した図です。図4のような、底面が正三角形3つでできた台形である箱の中を、角Eからロボットが進み始め、壁に何回かぶつかり、角Fで止まるまでには通り道が何通りかあります。図3を参考にして、折り返した底面とロボットが進むまっすぐな通り道を、解答らの点線を利用して2通りかきましょう。また、それぞれの通り道について壁にぶつかる回数を答えましょう。ただし、角にぶつかって止まることは1回と数えないこととし、ロボットは壁に沿って進むことはないこととします。また、ロボットの大きさは考えないこととします。解答らの三角形は正三角形であり、図は点線からはみ出さないこととします。

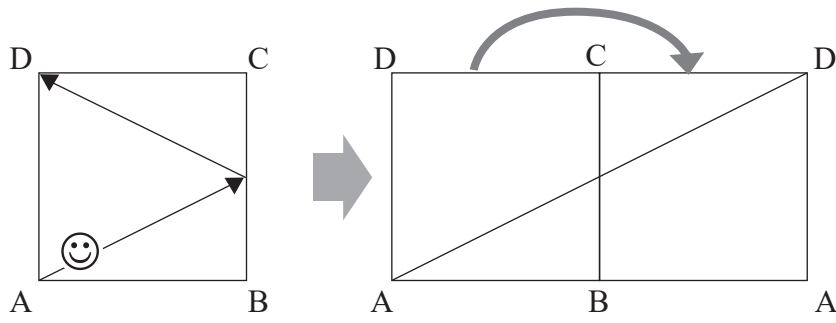


図3

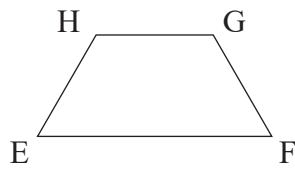
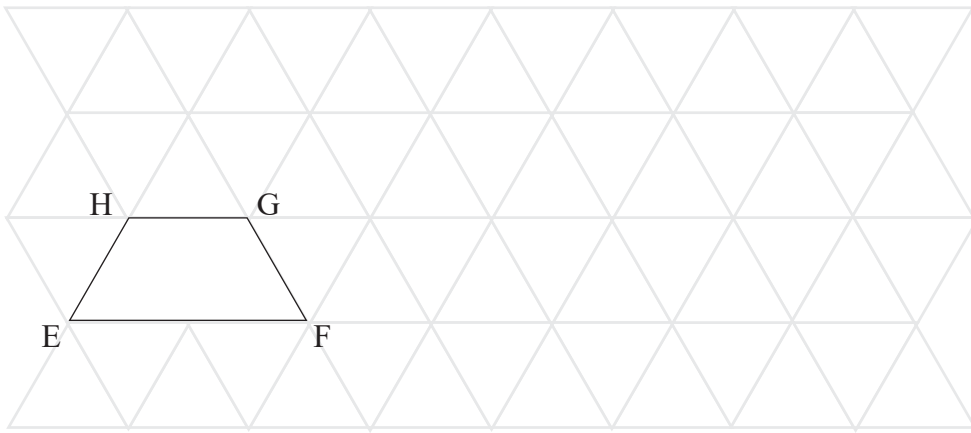
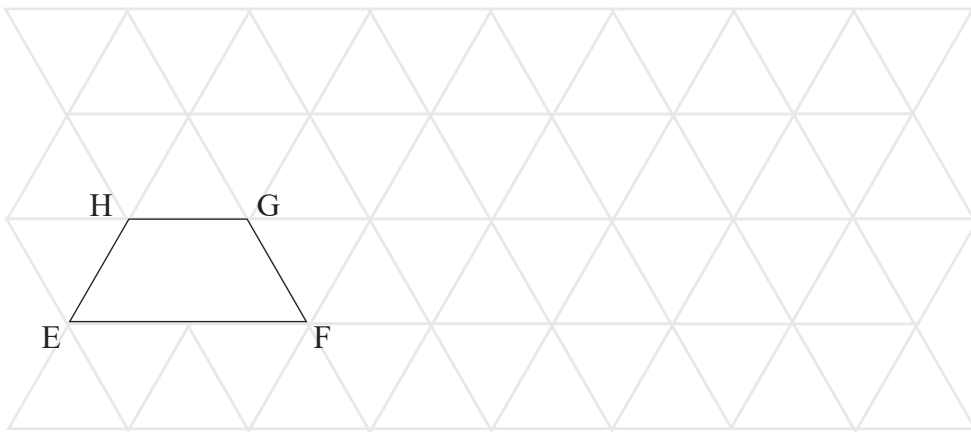


図4

解答らん



解答らん



たけしさんたちは、組み立てると直方体の箱になる形について話しています。

たけし：3種類の長方形A, B, Cをそれぞれ2枚ずつ使って、**図1**の形のようにテープでつなげたよ。

この形を組み立てると直方体の箱になるよ。

ともこ：6枚の長方形の面積を合わせると 616cm^2 になるわね。

たろう：面積が 616cm^2 なら、A, B, Cそれぞれの縦と横の長さが分かるね。そして、この形を組み立てて直方体にしたときの体積も分かるね。

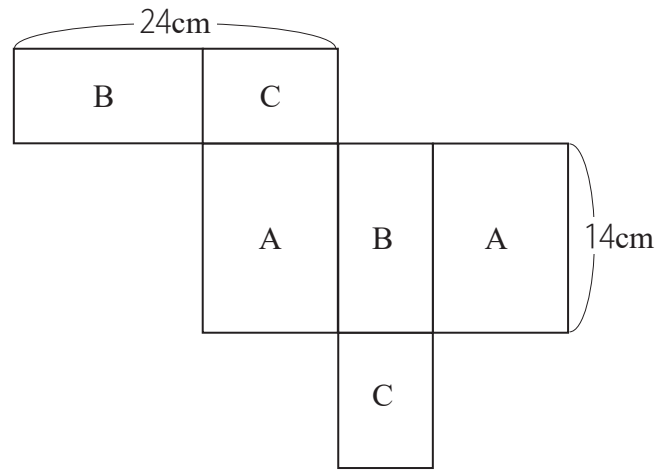
■問題

A, B, Cそれぞれの縦と横の長さの求め方を下の空らん^{らん}に書き、それぞれの長さを()に書きましょう。

また、組み立てて直方体にしたときの体積を、

『 』に書きましょう。

図1



たけしさんがつなげてできた形

[Aの縦と横の長さの求め方]	[Bの縦と横の長さの求め方]	[Cの縦と横の長さの求め方]
A 縦()cm 横()cm	B 縦()cm 横()cm	C 縦()cm 横()cm
組み立てて直方体にしたときの体積は『 』 cm^3		

※長方形の長さが長い方を縦とします。

子ども会の行事で、お楽しみ会を開くことになりました。そこで、6年生のさとしさんたちが中心となり、公民館でお楽しみ会をどのように進めていくか決めています。

さとし：お楽しみ会で、何をするか考えよう。

ひろこ：1年生から6年生まで参加するので、みんなで楽しめるものがいいわ。

はじめ：雨の日でもできるように、室内でできるゲームにしたらどうかな。

さとし：そうだね。そうしよう。

さとしさんは、育成会長さんからメモ(図1)をもらって、子ども会の人数を確認しました。

さとし：学年と地区のバランスを考えると、チーム分けがむずか難しいな。

はじめ：チーム分けの条件(図2)を考えてみたよ。どうかな。

りさこ：いいわね。学年や地区のかたよりがなさそうね。

はじめ：この三つの条件を満たすチーム分けの表を、

ホワイトボードに書いてみるね。表は見やすいように、学年順に書くよ。

りさこ：表が完成したわね。これなら条件を満たしているわ。はじめさん、よいチーム分けね。

書き写すから、まだ消さないでね。

さとし：しまった、ごめん。とちゅうまで消しちゃったよ(表)。どうしよう。

ひろこ：安心して。育成会長さんのメモとはじめさんが考えたチーム分けの条件があれば、元どおりに直せるわ。

学年	北地区	南地区
6年	1	3
5年	3	1
4年	2	2
3年	1	2
2年	3	2
1年	1	0

図1 育成会長さんのメモ

～チーム分けの条件～

- 一. 6年生を6ポイント、5年生を5ポイントというように、学年をポイントとし、各チームの合計ポイントを同じにすること。
- 二. チームは4人または5人のチームとすること。ただし、1年生は5人のチームに入れること。
- 三. 各チームとも、北地区と南地区の人数にかたよりがないようにすること。ただし、5人のチームは北地区を1人多くすること。

※表は、見やすいように学年順に整理する。

(例えば、6年生の次を3年生にしない、など)

図2 はじめさんが考えたチーム分けの条件

Aチーム		Bチーム		Cチーム		Dチーム		Eチーム	
学年	地区	学年	地区	学年	地区	学年	地区	学年	地区
6	南	6	南			6	南	5	北
5	北		南			4	北	5	北
3	北							4	南
2	南	2							
						1			

表 とちゅうまで消されてしまった表

■問題

はじめさんが考えたチーム分けの三つの条件に合うように, とちゅうまで消されてしまった表の空らん()に学年と地区を書き入れ, 元どおりに直して完成させなさい。

6年2組では、女子の代表選手4人が決まったので、この4人が走る順番について話し合っています。
よしこ：まずは、4人の3日間の80m走の記録(表1)を見てみましょう。

(単位：秒)

		1日目	2日目	3日目
A	よしこ	13.7	13.7	13.7
B	あけみ	13.9	13.6	13.9
C	さゆり	13.9	13.8	14.0
D	みさと	13.8	14.1	13.8

表1 4人の3日間の80m走の記録

さゆり：第二走者は、重要なので3日間の記録の平均が一番よかった人にしよう。

みさと：うん、そうしよう。第四走者は、リードされていても最後に逆転できるかもしれないから、3日間の記録の中で、一番速い記録を出した人にしよう。

よしこ：それでは、第一走者と第三走者は、どうやって決めたらいいかな。リレーでは、3回のバトンパスのスピードを落とさずに行うことが大切よね。

あけみ：それなら、テイクオーバーゾーンの通過記録(表2)を見て決めましょう。

さゆり：4人で走ったときのテイクオーバーゾーンの通過記録を合計したときに、最も速くなるように順番を決めようよ。これで走る順番が決まりそうだね。

(単位：秒)

前の走者	後の走者	記録	前の走者	後の走者	記録
A	B	4.0	C	A	3.7
A	C	4.0	C	B	4.0
A	D	3.7	C	D	3.8
B	A	3.9	D	A	3.7
B	C	4.1	D	B	4.1
B	D	4.1	D	C	3.9

表2 テイクオーバーゾーンの通過記録

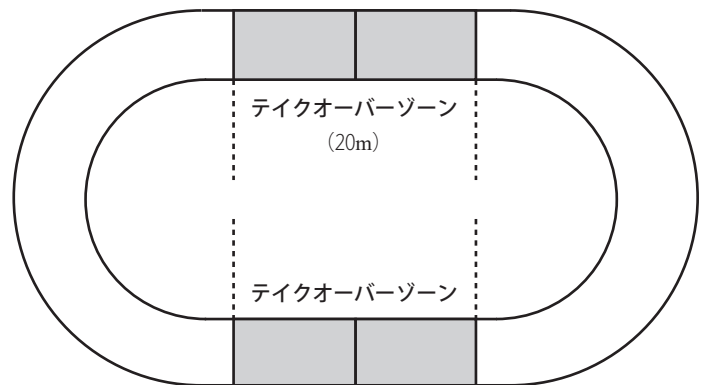


図1 リレー競技のトラック

※ 「記録(秒)」は、前の走者が、テイクオーバーゾーン(図1)に入ってから、後の走者がバトンを受け取って、テイクオーバーゾーンを出るまでの時間です。

■問題

上の会話に合うように走る順番を決めると、どのような順番になりますか。

表1のAからDの記号で答えなさい。(例：A→B→C→D)

卒業式を体育館で行うために、**図1**のように参加者席をつくります。体育館内に横15m、たて18mの長方形の形にシートをしき、シートの上に、下の【ルール】にしたがって同じ大きさのいすを96きやくならべます。

【ルール】

- ① シートの中央に横はば3mの通路をつくる。
- ② 中央の通路をはさんだ参加者席の、いすの横方向の間かくは等しくする。



いすの横はばは45cm、
たてはばは60cmです。

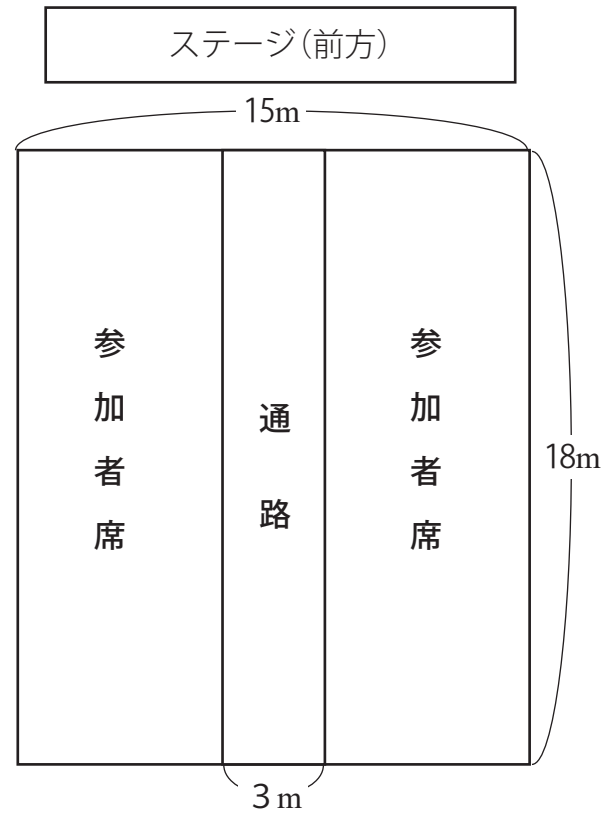


図1

■問題1

たて1列に12きやくのいすをならべることになりました。シートの一番前から1m空けて先頭のいすをおき、いすといすの間かくを75cmにしてならべます。

このとき、シートの後方は何m何cm空くことになるか求めなさい。

■問題2

次に横方向にいすをならべることになりました。シートの端からいすをならべて、いすの横方向の間かくをできるだけ広くとることにします。横1列に、通路をはさんでそれぞれ4きやくずつ、いすの間かくを等しくしてならべるとき、その間かくは、何m何cmとなるか求めなさい。

また、言葉や式などを使って求め方もかきなさい。

☆公立中高一貫校 適性検査 2021年 京都府立中学校①

太郎さんは、リボンを折ってから切ることで、リボンをいくつかに分けることにしました。
図1のように、長さが半分になるように折ることを【2つ折り】、長さが3分の1になるように折ることを【3つ折り】とします。また、**図2**の例のように、1度折ったリボンをさらに折ることもできます。太郎さんが用いるリボンはすべて長方形の形をしており、**図1, 2**のように、リボンを折るときは常に右側を固定して端と端がぴったり重なるように折ることとします。

図1

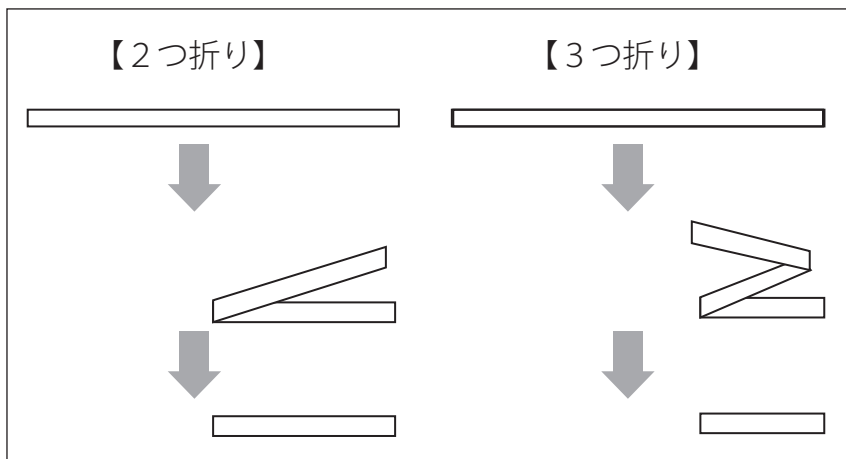
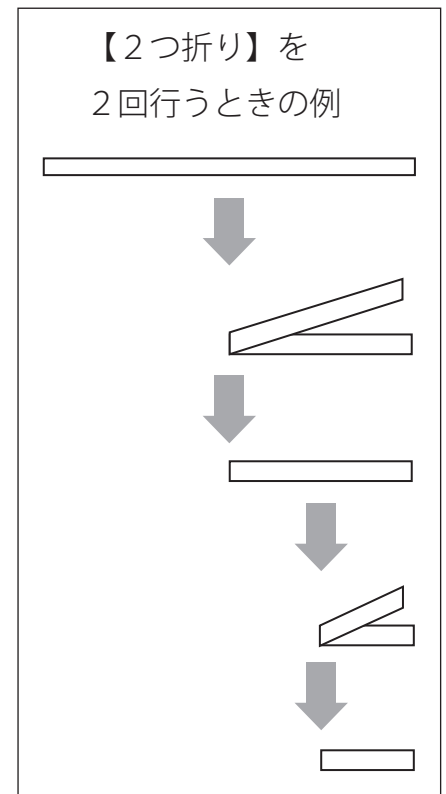


図2

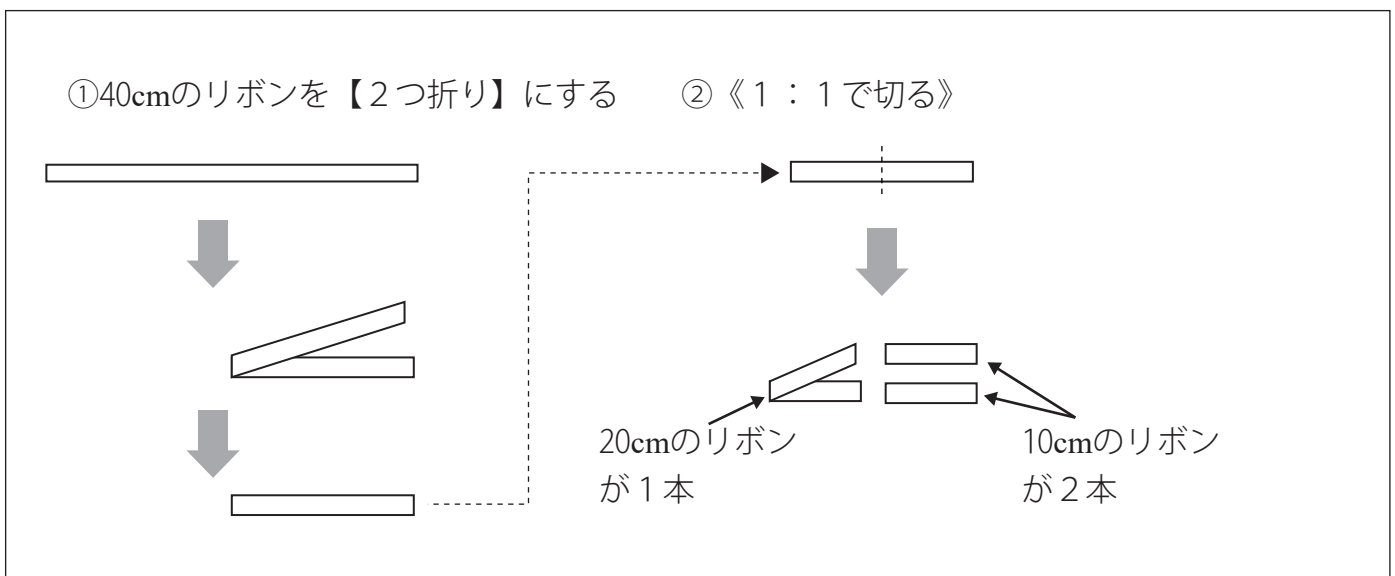


また、リボンを切ったときの左側の長さ a と右側の長さ b の比が $a:b$ になるように切り分けることを、《 $a:b$ で切る》とします。

ただし、 a と b は整数とし、重なっているリボンは、ずれないように重なったまま切るものとします。**図3**は、40cmのリボンを

【2つ折り】にし《1:1で切る》ときを例として表しています。この場合は20cmのリボンが1本、10cmのリボンが2本できるので、できるリボンの長さは2種類で、合計3本のリボンに切り分けられます。

図3



次の問題に答えなさい。ただし、リボンは伸び縮みしないものとし、リボンの厚さは考えないものとします。

■問題 1

120cmのリボンを【3つ折り】にし、《2 : 3で切る》と、合計何本のリボンができますか。
また、できるリボンの長さは何種類になりますか。

■問題 2

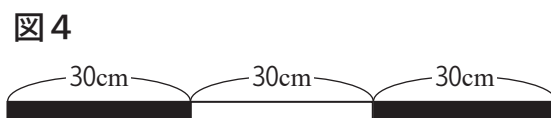
100cmのリボンを【2つ折り】にし、《「 」で切る》と、切り分けられたリボンの長さがすべて同じになりました。「 」にあてはまる比を、最も簡単な整数の比で答えなさい。

■問題 3

60cmのリボンを【2つ折り】にし、さらに【2つ折り】にしたものを《1 : 2で切る》と、何cmのリボンが何本できますか。「 」cmが「 」本、という形ですべて答えなさい。

■問題 4

90cmの白いリボンを用意し、**図4**のように、両端の30cmだけ両面ともすべて黒くぬりました。
このリボンを【3つ折り】にし、さらに【3つ折り】にしたものを《1 : 1で切る》と、合計何本のリボンができますか。
また、切り分けられたリボンのうち、白色と黒色の混ざったリボンは何本ありますか。



☆目次 解答編

■ 2021年 愛媛県立中学校	1
■ 2021年 宮城県仙台二華中学校	4
■ 2021年 岡山県立倉敷天城中学校	7
■ 2021年 宮崎県立中学校	9
■ 2021年 さいたま市立大宮国際中等教育学校(ロボット)	11
■ 2021年 さいたま市立大宮国際中等教育学校(基石)	13
■ 2021年 和歌山県立中学校	16
■ 2021年 奈良県立青翔中学校	18
■ 2021年 埼玉県立伊奈学園中学校	23
■ 2021年 神奈川県立中等教育学校	24
■ 2021年 都立共同作成問題	27
■ 2021年 都立三鷹中等教育学校	29
■ 2021年 都立両国高等学校附属中学校	32
■ 2021年 都立大泉高等学校附属中学校	36
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(富士サイファー)	38
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(暗号)	40
■ 2021年 都立富士高等学校附属中学校(玉入れ)	44
■ 2021年 都立桜修館中等教育学校	45
■ 2021年 都立白おう高等学校附属中学校	47
■ 2021年 山口県立中等教育学校	49
■ 2021年 横浜市立南高等学校附属中学校	52
■ 2021年 福井県立高志中学校(数字ならべ)	54
■ 2021年 福井県立高志中学校(ブロック)	57
■ 2021年 茨城県共通問題	60
■ 2021年 岡山県立岡山操山中学校	63
■ 2021年 青森県立三本木高等学校附属中学校	65
■ 2021年 栃木県立中学校(チーム分け)	67
■ 2021年 栃木県立中学校(リレー)	70
■ 2021年 熊本県立中学校	71
■ 2021年 京都府立中学校	73

解答

■問題1

三角形の1つの辺に3個ならぶようにするには、③, ④, ⑤の場所(図9)と①, ⑥, ⑤の場所(図10)に置けばよいです。

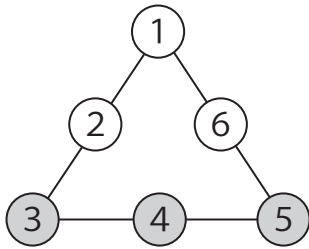


図9

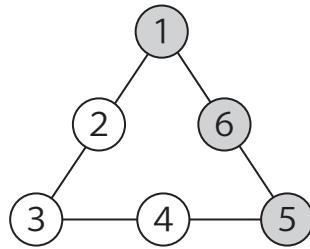
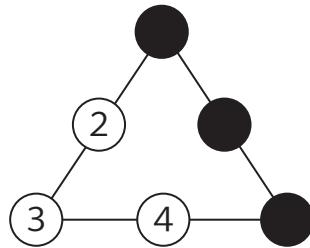
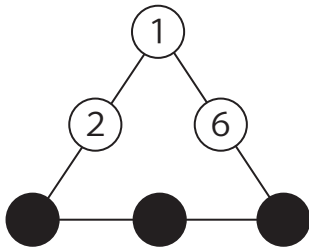


図10

これは簡単だね!



よって、番号をぬりつぶした答えは、下図になります。



■問題2

図11のように重なっている場所に注目すると、①, ③, ⑤の場所に置けばよいことがわかります。

よって、番号をぬりつぶした答えは、下図になります。

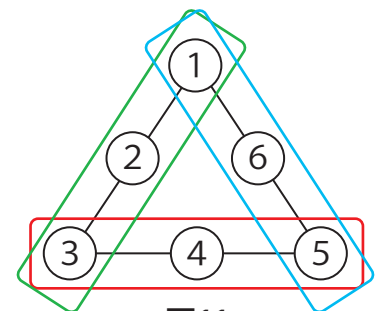
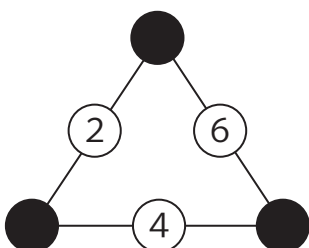


図11



■問題3

図3のように、②、④、⑥の場所に置くと、残りの1個は①、③、⑤のどこに置いても3個ならば辺はありません。よって、②、③、④、⑥(図12)か②、④、⑤、⑥(図13)の置くと、条件をみます。

(①、②、④、⑥は図4の場合)

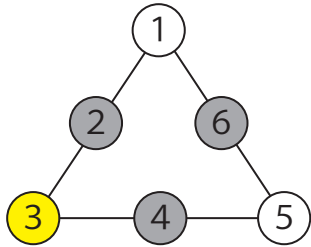


図12

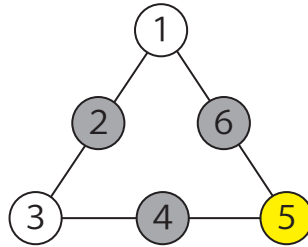


図13

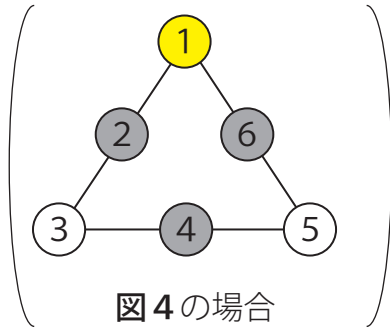


図4の場合

図3のように、②と④と⑥のうち、2か所に置いたとき、残りの2個を②と④と⑥のうちの置かれていない両どなりに置くと、3個ならば辺はありません。

よって、②、③、⑤、⑥(図14)か①、③、④、⑥(図15)に置くと、条件をみます。

(①、②、④、⑤は図5の場合)

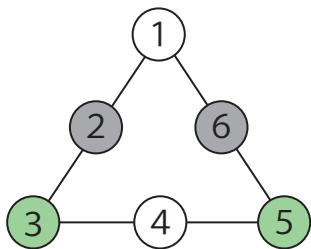
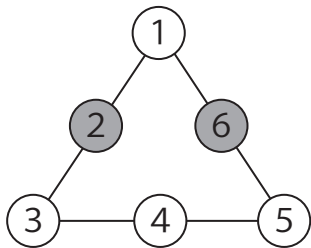


図14

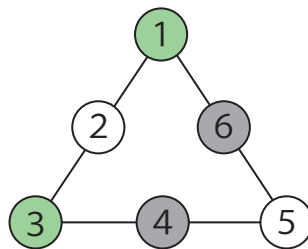
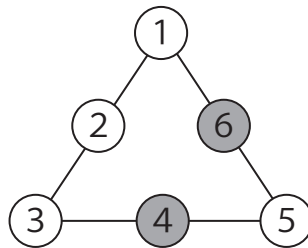


図15

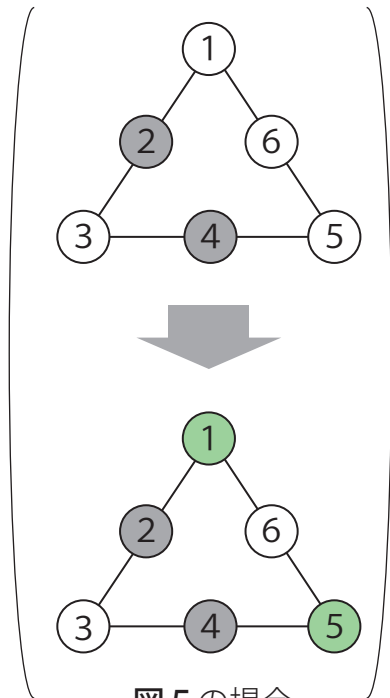
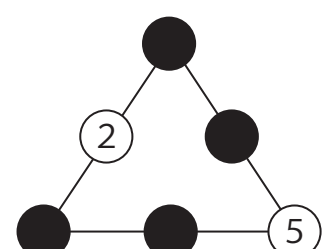
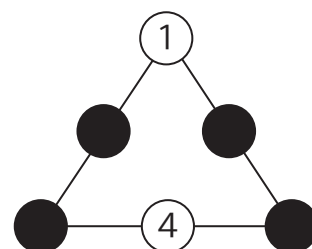
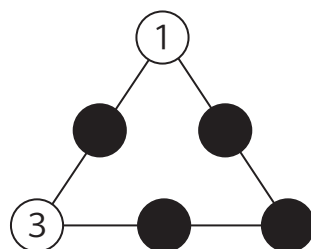
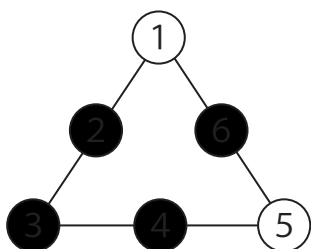


図5の場合

よって、番号をぬりつぶした答えは、下図になります。4つのうちの1つが書けていれば正解です。



■問題4

4個の基石を使い、1つの辺に3個ならぶように置いたとき、基石を置いている場所に書かれている数の和を最大にするには、**基石が置かれていない $6 - 4 = 2$ (か所) の数の和を最小にすればよい**です。

よって、基石が置かれていない場所が①, ②のとき(図16)が

最小になり、このとき1つの辺に3個ならぶので、条件をみたします。

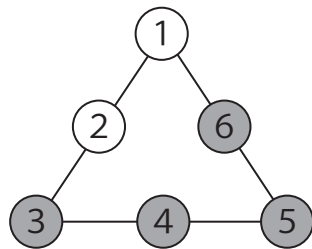


図16

これより、求める数の和は、

$$3 + 4 + 5 + 6 = 18$$

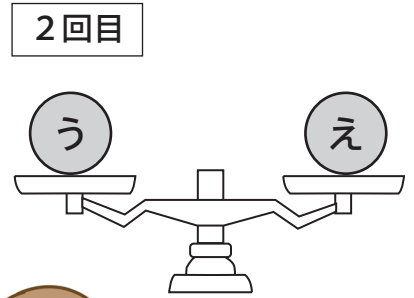
18 ……(答え)

解答

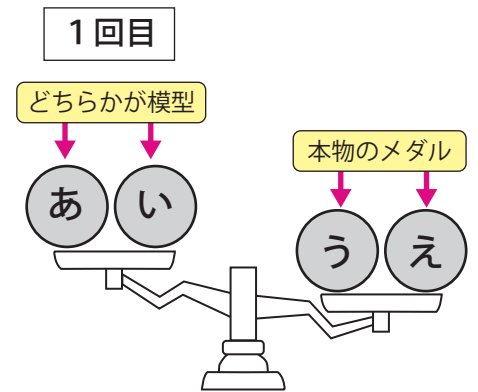
■問題 1

模型のメダルは1枚だけで、2回目の結果で、「う」と「え」がつり合っていることから、模型のメダルは「あ」と「い」のいずれかであることがわかります。

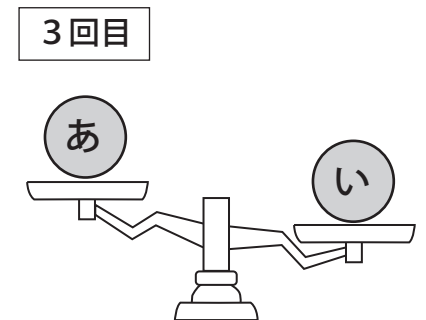
2回目から「う」と「え」は本物のメダルだとわかるね！



さらに、1回目の結果で、『「あ」「い」』が『「う」「え」』より軽いことから、模型のメダル(「あ」と「い」のどちらか)は本物より軽いことがわかります。



よって、3回目の結果から、軽い方の「あ」が模型であることがわかります。

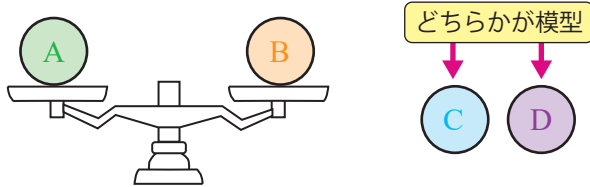


あ ……(答え)

■問題2

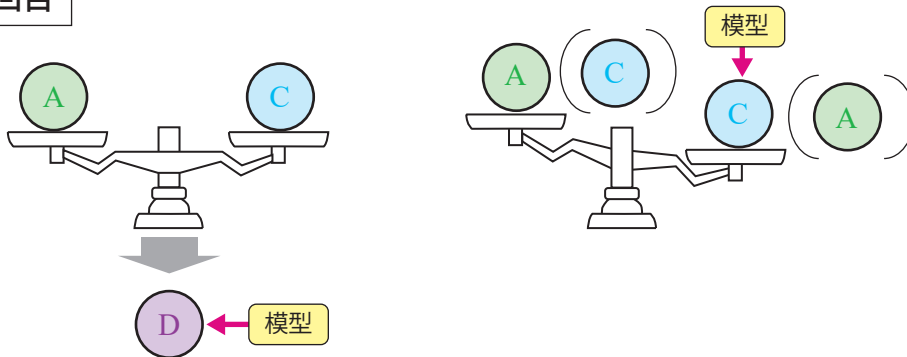
1回目にAとBをのせ、つり合えばAとBは本物で、CかDのどちらかが模型になります。

1回目



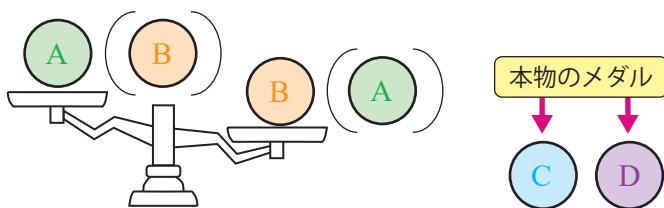
2回目にAとC(BとCでも可)をのせ、つり合えばDが模型で、つり合わなければCが模型になります。

2回目



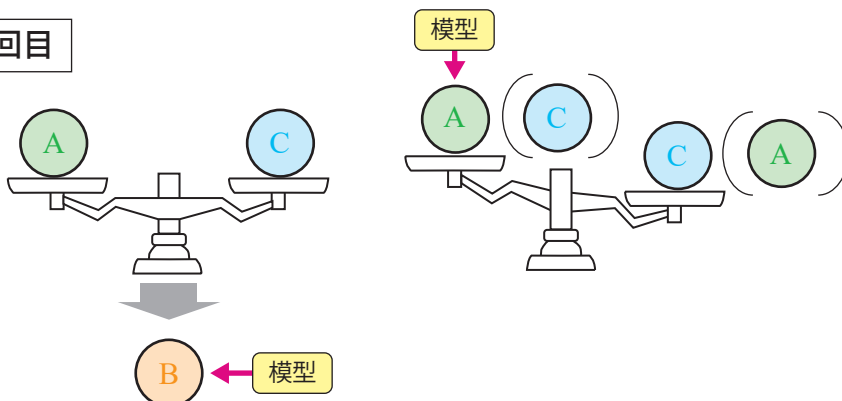
一方、1回目につり合わない場合はAかBのどちらかが模型で、CとDは本物になります。

1回目



2回目にAとC(AとDでも可)をのせ、つり合えばBが模型で、つり合わなければAが模型になります。

2回目



模型のメダルは1枚しかないので、4枚の中から2枚取り出してつり合えばその2枚は本物で、つり合わなければどちらかが模型であることがわかるよね！



説明の解答例は、以上をまとめて次のようになります。

1 回目に左右の皿にAとBを1つずつのせ, つり合えばAとBは本物で, CかDのどちらかが模型となる。

2 回目に左右の皿にAとCを1つずつのせ, つり合えばDが模型で, つり合わなければCが模型である。

一方, 1 回目につり合わない場合はAかBのどちらかが模型で, CとDは本物となる。

2 回目に左右の皿にAとCを1つずつのせ, つり合えばBが模型で, つり合わなければAが模型である。

解答

図1のスポンジケーキは、底面の円の半径が $18 \div 2 = 9$ (cm)、

高さが9 cmの円柱なのでスポンジケーキの体積は、

$$9 \times 9 \times 3.14 \times 9 = 2289.06 \text{ (cm}^3\text{)}$$



円柱の体積 = 底面積 (円の面積) × 高さ

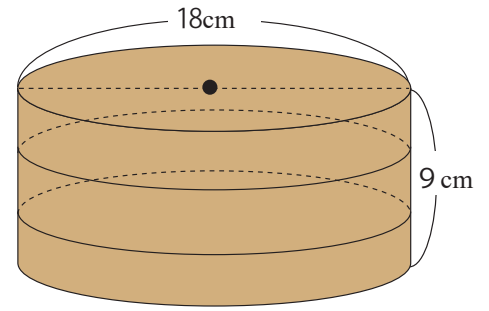


図1

図2の生クリームをぬったケーキ全体は、底面の

円の半径が $(1 \times 2 + 18) \div 2 = 10$ (cm)、

高さが $(1 \times 3 + 9) = 12$ (cm)の円柱と考える

ことができるので、ケーキ全体の体積は、

$$10 \times 10 \times 3.14 \times 12 = 3768 \text{ (cm}^3\text{)}$$



円柱の体積 = 底面積 (円の面積) × 高さ

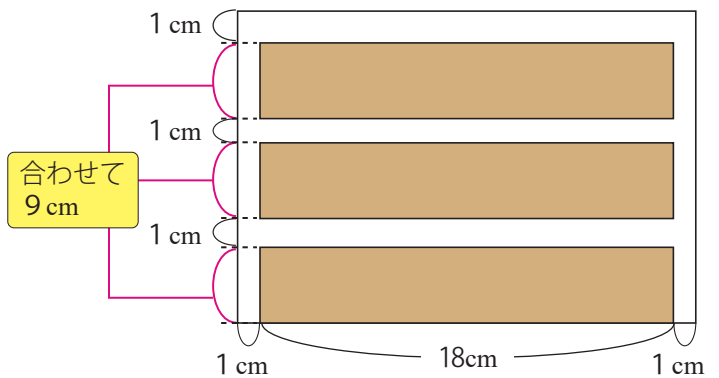
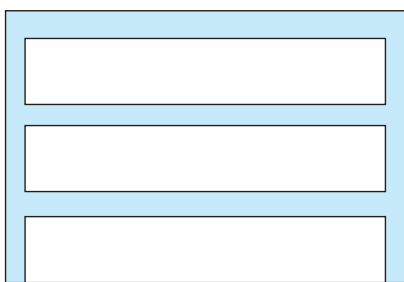


図2

スポンジケーキは3等分されていますが、ケーキ全体の体積からスポンジケーキの体積を

のぞけば生クリームの体積を求めることができるので(下図参照)、



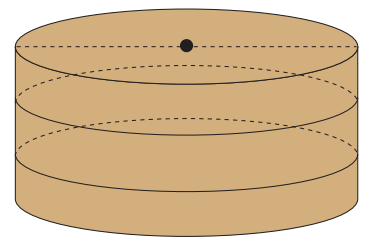
生クリームの体積

=



ケーキ全体の体積

-



スポンジケーキの体積

生クリームの体積は、

$$3768 - 2289.06 = 1478.94 \text{ (cm}^3\text{)}$$

よって、一の位を四捨五入すると必要な生クリームの量は、約 1480 cm^3 となります。

説明は以上をまとめて、次のようになります。

生クリームをぬったケーキは、底面の円の半径が10cm、高さが12cmの

円柱と考えることができるのでケーキ全体の体積は、

$$10 \times 10 \times 3.14 \times 12 = 3768 (\text{cm}^3)$$

スポンジケーキは3等分されているが、ケーキ全体の体積からスポンジケーキ全体の体積を

のぞけば生クリームの体積を求めることができるので、

$$\text{生クリームの体積は、} 3768 - 2289.06 = 1478.94 (\text{cm}^3)$$

よって、一の位を四捨五入すると必要な生クリームの量は、約1480 cm^3 となる。

必要な生クリームの量：**約1480 cm^3**

本pdfデータは

大人気シリーズ！

全国公立中高一貫校 適性検査

**「論理的思考力・地頭力を要する算数問題」
過去問解説集 第8弾(2021年度版)」**

の問題と解答の一部を紹介した
サンプルになります。

どの市販の参考書・問題集よりもわかり
やすい解説集になっていることを保証致します！

商品は **下記をクリック**
↓↓↓↓↓

**『自宅でできる受験対策ショップ
ワカルー Wakaru-！』**

からご購入いただけます。